



令和6年度

学校要覧

独立行政法人国立高等専門学校機構

和歌山工業高等専門学校

## 知能機械工学科



Department of  
Intelligent Mechanical  
Engineering

## 電気情報工学科



Department of  
Electrical and  
Computer Engineering

# GUIDE BOOK 2024

NATIONAL INSTITUTE OF TECHNOLOGY (KOSEN), WAKAYAMA COLLEGE

## 生物応用化学科



Department of  
Applied Chemistry and  
Biochemistry

## 環境都市工学科



Department of  
Civil Engineering

# CONTENTS

## 和歌山工業高等専門学校とは

校歌	1
沿革、校章、ロゴマーク、スクールカラー	2
校長あいさつ、高等専門学校とは	3
概要	4
3つのポリシー、和歌山高専の教育理念	5
組織等	6
学生、卒業・修了後の進路、就職・進学先	7
KOSEN TOPICS	8

## 学科紹介

<b>総合教育科</b>	9
学習の心得、カリキュラム、特色 Voice～在校生・教員の声～	
<b>知能機械工学科</b>	11
修得する能力、カリキュラム、特色 Voice～卒業生の声～	
<b>電気情報工学科</b>	13
修得する能力、カリキュラム、特色 Voice～卒業生の声～	
<b>生物応用化学科</b>	15
修得する能力、カリキュラム、特色 Voice～卒業生の声～	
<b>環境都市工学科</b>	17
修得する能力、カリキュラム、特色 Voice～卒業生の声～	

## 専攻科

メカトロニクス工学専攻	19
エコシステム工学専攻	
各専攻のカリキュラム・特色 Voice～修了生の声～	

## 学校生活

クラブ活動・学生会・国際交流	21
学生寮(柑紀寮)	22
研究活動・地域との連携	23
メディアセンター・ものづくりセンター	24
学年暦・学校行事	25

## 施設案内

校舎配置図	27
施設・支援	28

## データ集

教員一覧	30
教育課程	31
学生の詳細情報	33
進路	35
外部資金等受入・協定等の締結	39
学生・教職員の主な受賞一覧	40
会計	41

## 校歌

作詞 四宮春行  
作曲 片山穎太郎

### 一、阿古根の浦の 碧き海

果てなく広き 汝が姿に  
若人希望 いや速く  
学業修めむ ああ我が学園

### 二、煙樹ヶ浜の 翠り松

常磐渝らぬ 汝が姿に  
若人誓願 いや固く  
真理究めむ ああ我が学園

### 三、日高の川の 浄き水

流れて息まむ 汝が姿に  
若人使命 いや重く  
技術磨かむ ああ我が学園



## 沿革

1964(昭和39年) 4月1日	機械工学科、電気工学科及び工業化学科の3学科で発足(昭和39年法律第9号、入学定員各科40名、計120名)	1994(平成6年) 4月1日	土木工学科を環境都市工学科に改組(入学定員40名)
1965(昭和40年) 3月29日	本館(総合教育科・管理部)(旧:本館・一般教育科・管理棟)、寄宿舎1号館、寄宿舎食堂・浴室 竣工	1994(平成6年) 12月20日	地域共同テクノセンター(旧:総合技術教育研究センター) 竣工
1965(昭和40年) 4月12日	御坊市名田町野島77番地に本校舎を移転	1995(平成7年) 4月1日	総合技術教育研究センターを設置
1966(昭和41年) 3月20日	寄宿舎4号館 竣工	2002(平成14年) 4月1日	専攻科(メカトロニクス工学専攻、エコシステム工学専攻)を設置(各定員8名、修業年限2年)
1966(昭和41年) 3月30日	本館(知能機械工学科)(旧:本館・機械工学科棟)、本館(生物応用化学科)(旧:本館・工業化学科棟)、ものづくりセンター(旧:実習工場)、第1体育館 竣工	2003(平成15年) 4月1日	総合技術教育研究センターを地域共同テクノセンターに改称
1966(昭和41年) 12月1日	本館(電気情報工学科)(旧:本館・電気工学科棟)、寄宿舎5号館 竣工	2004(平成16年) 2月27日	専攻科棟 竣工
1967(昭和42年) 3月25日	課外活動施設(旧:合宿施設) 竣工	2004(平成16年) 4月1日	独立行政法人国立高等専門学校機構が設立 同機構が設置する国立高等専門学校に移行 電気工学科を電気情報工学科に改組(入学定員40名)
1968(昭和43年) 3月22日	寄宿舎2号館、寄宿舎7号館(旧:寄宿舎管理棟・女子寮) 竣工	2008(平成20年) 5月19日	ロボット教育センター 設置
1969(昭和44年) 3月26日	武道場 竣工	2009(平成21年) 4月1日	機械工学科を知能機械工学科に改組(入学定員40名)
1969(昭和44年) 4月1日	土木工学科を設置(入学定員40名)	2014(平成26年) 7月3日	寄宿舎8号館 竣工
1970(昭和45年) 3月23日	環境都市工学科棟(旧:土木工学科)、寄宿舎3号館 竣工	2017(平成29年) 4月1日	物質工学科を生物応用化学科に改組(入学定員40名)
1972(昭和47年) 12月2日	メディアセンター(旧:図書館)竣工	2021(令和3年) 6月28日	寄宿舎7号館 竣工
1975(昭和50年) 3月28日	情報処理教育センター 竣工	2022(令和4年) 7月28日	寄宿舎5号館(食堂・浴室) 竣工
1980(昭和55年) 3月29日	第2体育館 竣工	2023(令和5年) 7月28日	寄宿舎4号館 竣工
1982(昭和57年) 3月25日	普通教室棟、弓道場 竣工	2023(令和5年) 11月29日	第1体育館 解体
1983(昭和58年) 3月14日	福利センター・国際交流会館(旧:福利センター) 竣工	2024(令和6年) 3月14日	第2体育館及び武道場 解体
1988(昭和63年) 3月10日	寄宿舎6号館 竣工	2024(令和6年) 5月28日	総合体育館 竣工
1989(平成元年) 3月27日	プール附属屋 竣工	2024(令和6年) 6月25日	寄宿舎3号館 竣工
1993(平成5年) 4月1日	工業化学科を物質工学科に改組(入学定員40名)		

## 校章



本校の校章は、和歌山の“W”と“山”の2字を併せて型取った台の上に、“高専”の2字を乗せ、それを左右から和歌山が名産地である蜜柑の木の若枝で抱きかかえたデザインです。また、その背景には本校のスクールカラーである紺碧色を配色しています。

## スクールカラー

DIC-N888  
系統色名 こい青

本校のスクールカラーは「紺碧(こんぺき)」(DIC-N888)です。この色は、深みのある濃い青色で本校からのぞむ太平洋の海の色を表現するとともに日本の伝統色となっています。

## ロゴマーク



本校のロゴマークは、平成28年に公募し、知能機械工学科学生(平成28年度本校入学)のデザイン案を採用しました。

## ロゴマークにこめられた思いについて

- 未来へ羽ばたく『蝶』**  
この高専を卒業した学生は、『蝶』のように社会という大きな空に飛び立ち、たくさんの人々に笑顔を与えます。
- 工業高専のイメージでもある『三角定規』**  
高専の全学科共通のイメージとなるツールとして『三角定規』に着目しました。『三角定規』をデザインすることにより『工業高専』である本校の特徴をスマートに伝えようと思いました。
- 東にそびえる『山』、西に広がる『海』**  
周りが自然で満ちあふれている素晴らしい環境の本校『山』にも『海』にも恵まれている様子を、それぞれ緑と青というカラーリングで表しました。
- WAKAYAMAの『W』**  
和歌山高専の英語表記の頭文字としての『W』のイメージを、ロゴマークの形状で表現することにより、他の高専との差別化、区別化を明確にしました。『W』といえは和歌高専だとすぐに分かってもらえる狙いがあります。また、校章にも“W”の文字が使われており、連動する意味も持たせます。

## 校長あいさつ



校長  
井上 示恩  
INOUE Shimeon

和歌山工業高等専門学校は、1964年(東海道新幹線開業、東京オリンピック開催)に和歌山県の中南部にある御坊市に設立され、本年で創設60周年を迎える誇り高い工学技術者(エンジニア)の育成校です。大学等と同様の高等教育機関であり、創設以来約8,300人の卒業生、修了生が産業を支える技術者として採用され、高く評価されています。全国の産業界等の期待を反映した高い求人倍率のもと、就職希望者のほぼ全員が就職し企業・研究所や官公庁で中心的な存在として活躍しています。グローバル化の進展に伴い海外で活躍する卒業生も出てきています。さらに、工学の技術を更に深めるために大学や専攻科へ進学できる道も開いており、毎年、多くの学生が大学等に進学しています。

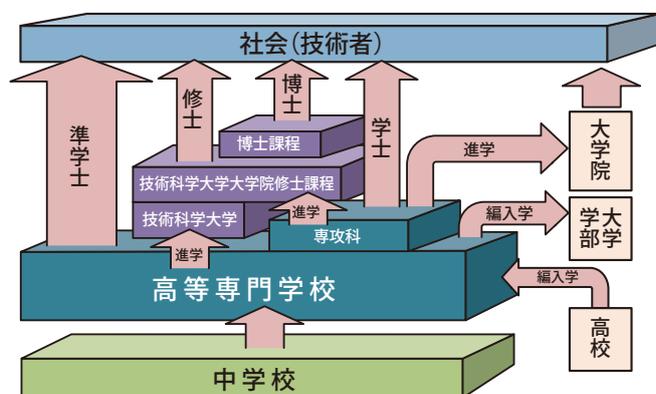
これは、理工系に興味がある中学校の卒業生を対象とした5年間の一貫教育と早期の専門教育により優れた技術者を社会に輩出し、また、大学等での専門的な学術研究につながる基盤的な素養を培うことに主眼を置いた日本独自の高専教育システムに基づいています。本校は国立高等専門学校機構に属しており、その本部から「ものづくり教育」という観点で高い信頼を得ています。実際の製品開発や生産現場での経験豊富な教員も多く、多様かつ優れた教育力・研究力を有する教員により実践的な技術教育が行われていることがその大きな理由です。テレビで放映される全国高専ロボットコンテストの常連校であるだけでなく、次世代を担う子供たち(小中学生)にロボットを通してものづくりの楽しさを伝える「きのくにロボットフェスティバル」にも積極的に参画しております。また、和歌山県中南部地域で唯一の国立の高等教育機関であることから、地域に貢献する高専として産官学技術交流会を立ち上げ、技術相談や共同研究を活発に行い、地域の期待に応える活動を長年推進してきました。これから本校は、技術革新が目覚ましく社会も大きく変化している中、「ものづくり」力を土台として、「ことづくり」力、つまりイノベーションを実現するための起業家精神を兼ね備え、地域や日本全国の課題を解決し、世界に通用するエンジニアとして活躍する「人財」の育成に注力することとしております。また、本校は、留学生や女子学生が生き生きと勉学できる環境も整備しており、男女共同参画、国際交流等をさらに推進していきます。

最後に、保護者の方々や後援会、同窓会、関係者の皆様の日頃からのご理解・ご支援に心から感謝申し上げますとともに、今後も引き続き、本校の発展により一層ご支援くださいますようお願い申し上げます。

## 高等専門学校とは

### 5年間の一貫教育により、すぐれた技術者を育成

高等専門学校は、「深く専門の学芸を教授し、職業に必要な能力を育成する」ことを目的として設置された、中学校卒業程度を入学資格とする高等教育機関です。豊かな教養と専門の工学とを身につけた技術者の育成を使命として、中学校卒業段階という早期からの5年一貫の体験重視型の専門教育を特色とし、応用力に富んだ実践的・創造的技術者の育成を行います。



## 和歌山高専の特色ある教育

技術者教育は、「ものづくりの教育」です。技術者は基本的な原理や理論を理解するとともに、実際に手を動かしたり、触れたりする体験によりスキルを身につけることも必要です。本校では、実験・実習を重視したカリキュラムによりものづくりに必要なセンスを養います。本校が展開する技術者教育の特色は次の通りです。

- 実験実習の重視
- 基礎教育と専門科目の連携
- インターンシップによる職業体験
- 国際性を備えた人間性豊かなエンジニアの育成
- 大規模寮を利用した全人教育

## 海外との交流

「国際性を備えた人材の育成」を図る施策の一つとして、上海電機学院（中華人民共和国）との交流を行っています。2002年に交流協定を締結、2004年より学生交流が始まり、年1回、10数名の学生が、約2週間の相互訪問を行っています。2011年3月にこれまでの協定を発展させ、相互の学校において正規課程修了のための修学が可能となる新たな協定を締結し、本格的な相互留学ができるようになりました。また、2016年8月にアトマジャヤ大学（インドネシア共和国）、2016年9月にはスラバヤ工科大学（インドネシア共和国）、2017年9月にはボゴール農科大学（インドネシア共和国）と学術交流協定を締結しました。

グローバル化に対応する学生の留学支援では、文部科学省と（独）日本学生支援機構が実施している「官民協働海外留学支援制度～トビタテ!留学JAPAN 日本代表プログラム～」を利用して毎年数名の学生が短期留学をしています。また、2024年5月現在、5ヶ国9名の留学生が本科に在籍し、日本人学生とともに卒業をめざして学んでいます。



上海電機学院にて文化体験(上海)

ボゴール農科大学への短期留学(ジャカルタ)



## 大学等との交流(推薦入試制度等)

専攻科には、早稲田大学大学院情報生産システム研究科、北陸先端科学技術大学院大学等への大学院推薦入試制度があります。また、2006年3月に大阪大学工学部／大学院工学研究科と、2007年10月に大阪大学基礎工学部／大学院基礎工学研究科と、2007年3月に京都大学工学部・大学院工学研究科と教育研究交流協定を結び、2015年3月には和歌山大学システム工学部と編入学学生のための単位互換に関する協定を結び、大学との緊密な交流を推進しています。

さらに、2007年11月には和歌山県教育委員会と連携協力包括協定を結び、県内の工業教育の充実を、2018年3月には鳥羽商船高専と包括連携協定を結び、防災に関する相互協力や特に海洋面での教育及び学術研究交流を推進しています。

## 地域への貢献

和歌山県中南部地域で唯一の高等教育機関として地域の発展に貢献しています。御坊地域において和歌山高専産官学技術交流会への参加・支援を行っています。また、紀陽銀行との包括協定により、学生と県内企業との交流の機会を提供するために「地域産業勉強会」を開催しています。

さらに、地域の自治体との包括連携協定を締結するなど、地域に根差した高専として、防災をはじめとして様々な分野で協働により取り組んでいます。その他、「なるほど!科学体験フェア」をはじめ小中学生向けの数多くの公開講座、出前授業などを学生の協力を得て開催するとともに「きのくにロボットフェスティバル」の実行委員会のメンバーとして毎年開催に協力しています。



地域産業勉強会2023(御坊市立体育館)



なるほど!科学体験フェア2023(和歌山市プラザホープ)

## 3つのポリシー

### ○3つのポリシー

#### 本科ディプロマ・ポリシー (卒業認定に関する方針)

「教育理念」に基づく5年間の一貫教育を通じて、エンジニアに必要な一般教養と専門知識・技能を身につけ、工学的技術への興味・関心や豊かな人間性・国際性を育むことにより、工学分野に関わる課題を、環境との調和に配慮しながら創造的に解決できる能力を備えた学生に対して卒業を認定します。

#### 本科カリキュラム・ポリシー (教育課程編成・実施の方針)

上記ディプロマ・ポリシーに掲げた能力を育成するため、全国高専共通のモデルコアカリキュラム (MCC) をベースに一般科目、専門科目を体系的に編成した講義のほか、実践的科目の演習、実験、実習等を有機的に関連させた特色のある授業科目、キャリアデザイン系科目を開設します。各学科とも、授業科目に係る単位修得の認定は主に定期試験によるものとしますが、科目等によっては、レポート等の評価結果により認定します。なお、授業科目の成績評価は100点満点及び可否で行い、合・優・良・可を合格、否・不可を不合格とし、合格の場合は単位を認定します。

#### 本科アドミッション・ポリシー (入学者受入れの方針)

講義のほかに実験・実習に重点をおいた教育を行い、高度な知識と技術を身につけ、新しい時代に対応した創造力に富み、人間性豊かで、国際社会にも貢献できるエンジニア育成のための教育・指導を行っています。

この理念のもと、次のような適性と能力を持った人を、学校長推薦入試においては調査書、面接、小論文、推薦書、志望理由書及び活動報告書、体験実習入試においては調査書、体験実習、面接、志望理由書及び活動報告書、学力検査入試においては学力検査及び調査書、帰国生徒特別選抜入試においては学力検査及び面接、調査書により確認し、受け入れます。

- ・基礎学力に基づき、自らの考えを文書や口頭で説明・理解させることができる人
- ・科学技術に興味を持ち、志望する学科の専門知識と技術を修得したい人
- ・自ら積極的に行動し、充実した高専生活を送りたい人
- ・将来、修得した専門知識や技術を活かした仕事に就きたい人

#### 本科(編入学)アドミッション・ポリシー (入学者受入れの方針)

講義のほかに実験・実習に重点をおいた教育を行い、高度な知識と技術を身につけ、新しい時代に対応した創造力に富み、人間性豊かで、国際社会にも貢献できるエンジニア育成のための教育・指導を行っています。

この理念のもと、次のような適性と能力を持った人を、調査書、面接、志望理由書、推薦書により確認し、受け入れます。

- ・基礎学力に基づき、自らの考えを文書や口頭で説明・理解させることができる人
- ・科学技術に興味を持ち、志望する学科の専門知識と技術を修得したい人
- ・自ら積極的に行動し、充実した高専生活を送りたい人
- ・将来、修得した専門知識や技術を活かした仕事に就きたい人

#### 専攻科ディプロマ・ポリシー (修了認定に関する方針)

「教育理念」に基づき、工学を社会の繁栄と環境との調和に生かすための創造力と課題を解決するデザイン能力を身につけ、地域社会の特色を生かしつつ、地球環境に配慮した新技術の開発に貢献することにより、新たな課題に挑戦する豊かな人間性と国際性を備えた学生に対して修了を認定します。

#### 専攻科カリキュラム・ポリシー (教育課程編成・実施の方針)

上記ディプロマ・ポリシーに掲げた能力を育成するため、(1)一般科目、(2)専門科目を体系的に編成した講義のほか、(3)実践的科目の演習・実験・実習等を有機的に関連させた特色のある授業科目を開設します。また、各専攻とも、授業科目に係る単位修得の認定は主に定期試験によるものとしますが、科目等によっては、レポート等の評価結果により認定します。なお、授業科目の成績評価は100点満点で行い、A・B・Cを合格とし、合格の場合は単位を認定します。

#### 専攻科アドミッション・ポリシー (入学者受入れの方針)

専攻科(メカトロニクス工学専攻・エコシステム工学専攻)では、次のような適性と能力を持った人を、推薦による選抜においては調査書、志望理由書、推薦書及び該当者のみ面接、学力による選抜においては学力検査、TOEICスコア報告書、調査書、志願理由書、該当者のみ面接、社会人特別選抜においては成績証明書及び志望理由書、面接により確認し、受け入れます。

- ・幅広い専門性や論理性を身に付けた技術者として、持続可能な社会の形成に貢献したい人
- ・自主的・継続的に学習や研究に取り組み、自己の向上を目指したい人
- ・技術者教育を受けるために必要な専門基礎や英語などについての基礎能力を持っている人
- ・企業において、技術者としての基礎能力を有し、更に自己の能力を伸ばしたいと考える人

#### 和歌山高専の教育理念

本校は、5年間の一貫教育を通じて、エンジニアとしての素養を身につける基礎教育と、実践を重視した専門教育を効果的に行うことにより、工学を社会の繁栄と環境との調和に生かすための創造力と問題解決能力を身につけ、豊かな人間性と国際性を備えた人材の育成を目指します。

とりわけ自然環境に恵まれた和歌山県中南部に位置する本校は、地域社会の特色を生かしつつ、地球環境に配慮した新技術の開発に貢献することにより、新たな課題に挑戦します。

こうした環境と地域連携を考慮した教育・研究活動が、国際社会へもアピールできるよう努力を重ねます。

# 組織等

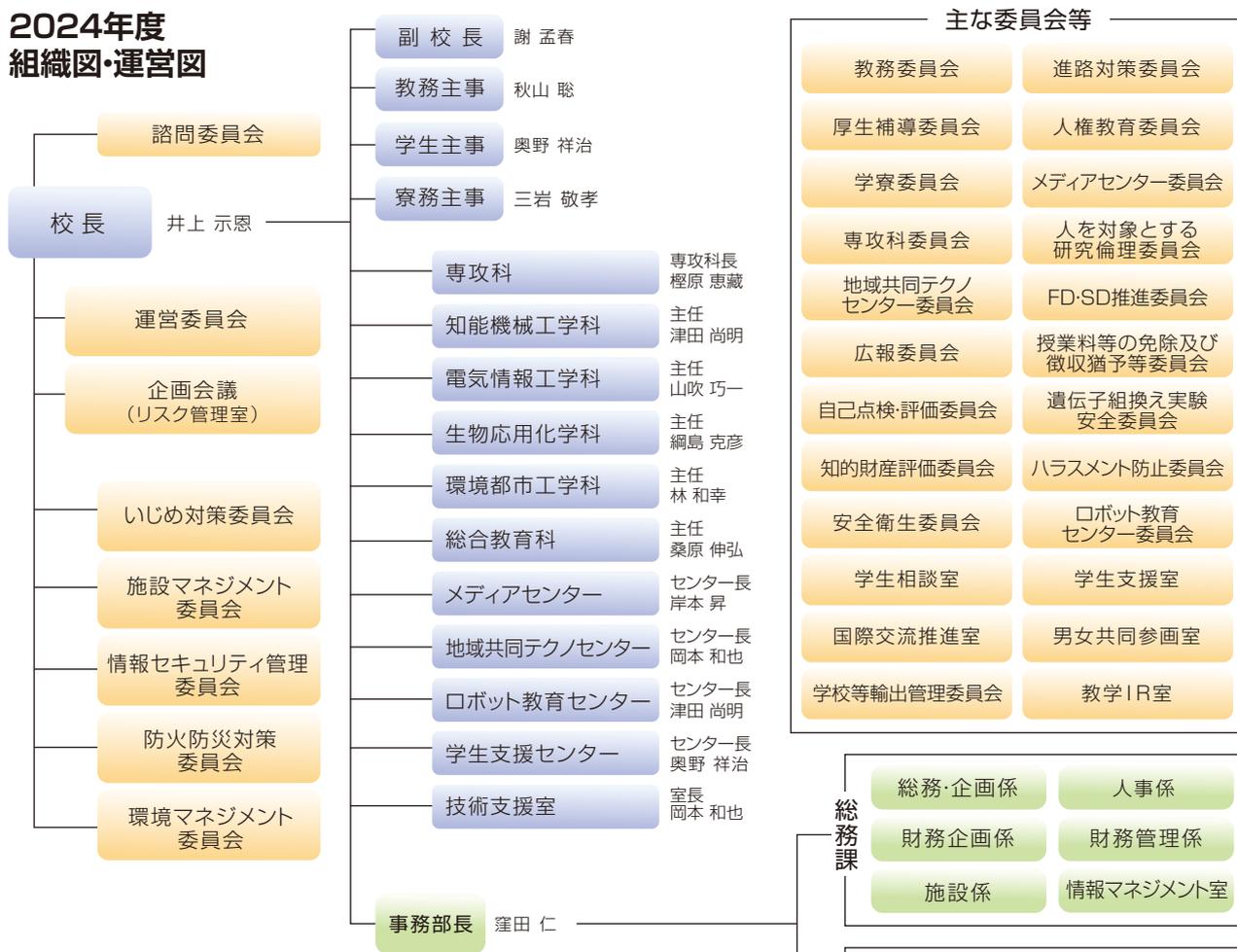
## 歴代校長

	氏名等
初代	澤井 八洲男
2代	工学博士 近藤 繁人
3代	工学博士 市原 松平
4代	工学博士 阿河 利男
5代	工学博士 岡本 平
6代	理学博士 興地 斐男
7代	山本 博
8代	葦澤 弘志
9代	堀江 振一郎
10代	理学博士 角田 範義
11代	北風 幸一
12代	井上 示恩

## 名誉教授

氏名等	工学博士	高木 浩一	堀江 振一郎
玉置 邦太郎	工学博士	富上 健次郎	博士(工学) 西本 圭吾
工学博士 岡本 平	工学博士	小川 一志	博士(工学) 中本 純次
山岸 昭英	博士(工学)	葦澤 弘志	博士(工学) 林 純二郎
博士(工学) 宮原 一典	工学博士	藤原 昭文	後藤 多栄子
工学博士 橋口 清人	博士(工学)	坂田 光雄	理学博士 角田 範義
吉川 壽洋		渡邊 仁志夫	博士(工学) 山口 利幸
原 敏晴	博士(工学)	久保井 利達	博士(工学) 野村 英作
田縁 正幸	博士(工学)	福田 匡	博士(工学) 霧巻 峰夫
博士(工学) 谷口 邁	博士(工学)	徳田 将敏	博士(工学) 北澤 雅之
溝口 幸美	工学博士	藤本 晶	博士(工学) 米光 裕
西芝 茂樹	医学博士	山川 文徳	北風 幸一
博士(工学) 猪飼 健夫	工学博士	大久保 俊治	博士(薬学) 土井 正光
尼田 正男	博士(英語学)	森川 寿	博士(工学) 辻原 治
工学博士 佐々木 清一	工学博士	溝川 辰巳	

## 2024年度 組織図・運営図



## 教員の年齢構成・男女別構成

2024年5月1日現在

		知能機械工学科	電気情報工学科	生物応用化学科	環境都市工学科	総合教育科	計
年齢別	60歳以上63歳以下	1	2	0	0	3	6
	55歳以上60歳未満	1	1	1	0	3	6
	50歳以上55歳未満	0	2	3	2	2	9
	45歳以上50歳未満	3	0	3	2	0	8
	40歳以上45歳未満	0	2	1	3	3	9
	35歳以上40歳未満	2	2	1	2	3	10
	30歳以上35歳未満	2	1	1	1	3	8
30歳未満	0	0	0	0	0	0	
男女別	計	8	9	9	10	14	50
	男	8	9	9	10	14	50
	女	1	1	1	0	3	6

(年齢は年度末年齢)

## 教職員数

2024年5月1日現在

区分	校長	教授	准教授	講師	助教	教員計	常勤職員	教職員計
現員	1	24	18	5	9	57	(1)	(1)
実行人員枠	1	26	18	7	10	62	41	103

※教員のうち49人が博士号取得  
※( )は常勤的非常勤職員で外数

# 学 生

令和6年5月1日現在( )内は女子数

## 各学科定員及び現員

学科名	学年定員	1年	2年	3年	4年	5年	現員合計
知能機械工学科	40	42(3)	37(5)	42(4)	37(4)	39(4)	197(20)
電気情報工学科	40	40(7)	42(8)	41(3)	46(6)	44(7)	213(31)
生物応用化学科	40	41(15)	40(19)	40(18)	42(19)	37(17)	200(88)
環境都市工学科	40	42(12)	39(14)	37(9)	45(11)	41(10)	204(56)
計	160	165(37)	158(46)	160(34)	170(40)	161(38)	814(195)

## 専攻科定員及び現員

専攻	学年定員	1年	2年	現員合計
メカトロニクス工学専攻	8	10(1)	11(2)	21(3)
エコシステム工学専攻	8	10(4)	10(5)	20(9)
計	16	20(5)	21(7)	41(12)

## 卒業・修了後の進路 大学等への進学54名!大学院入学4名!

令和6年5月1日現在

項目 学科	卒業者数			就 職						進学者数			その他 (自営を含む)		
				就職希望者数			就職者数								
	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女
知能機械工学科	39	34	5	26	24	2	26	24	2	12	9	3	1	1	0
電気情報工学科	35	31	4	21	19	2	21	19	2	13	11	2	1	1	0
生物応用化学科	37	24	13	25	17	8	25	17	8	11	6	5	1	1	0
環境都市工学科	38	31	7	20	16	4	20	16	4	18	15	3	0	0	0
計	149	120	29	92	76	16	92	76	16	54	41	13	3	3	0

※1 休学者は含まない

※2 大学1年次・専門学校等入学はその他に含む

項目 専攻	修了者数			就 職						進学者数			その他 (自営を含む)		
				就職希望者数			就職者数								
	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女
メカトロニクス工学専攻	13	12	1	10	9	1	10	9	1	2	2	0	1	1	0
エコシステム工学専攻	15	9	6	12	6	6	12	6	6	2	2	0	1	1	0
計	28	21	7	22	15	7	22	15	7	4	4	0	2	2	0

### 令和5年度本科就職先

#### 企業

(株)アイ・エス・ピー、アドバンスプランニング(株)、出光興産(株)、(株)エイト日本技術開発、エース設計産業(株)、エヌ・ティ・ティ・インフラネット(株)、大阪ガスネットワーク(株)、(株)大林組、小川香料(株)、オークマ(株)、(株)オリエンタルコンサルタンツ、花王(株)、鹿島建設(株)、(株)カネカ、関西エアポートテクニカルサービス(株)、(株)クボタ、クラシエ製薬(株)、京王建設(株)、(株)小松製作所、五洋建設(株)、三機工業(株)、サントリー(株)、JFEエンジニアリング(株)、Japan Advanced Semiconductor Manufacturing(株)、(株)JALエンジニアリング、新明和工業(株)、住友精化(株)、全星薬品工業(株)、ソニーグローバルマニュファクチャリング&オペレーションズ(株)、(株)ソフトサービス、Daigasガスアンドパワーソリューション(株)、ダイキン工業(株)、大成建設(株)、(株)タジマモーターコーポレーション、(株)タマディック、寺崎電気産業(株)、(株)デンソー、東亜石油(株)、東海旅客鉄道(株)、東京水道(株)、東レ(株)、中日本高速道路(株)、西日本高速道路エンジニアリング関西(株)、西日本高速道路ファシリティーズ(株)、西日本電信電話(株)、西日本旅客鉄道(株)、ニチレキ(株)、(株)日産オートモティブテクノロジー、日信電子サービス(株)、NITTOKU(株)、パナソニックインダストリー(株)、阪神高速技術(株)、ファナック(株)、深江化成(株)、不二製油(株)、富士通(株)、フジテック(株)、富士電機(株)、本州化学工業(株)、丸善石油化学(株)、マルホ(株)、三井化学(株)、三井住友建設(株)、三菱電機エンジニアリング(株)、三菱電機(株)神戸製作所、メディカル・エキスパート(株)、(株)モビテック、森トラスト・ビルマネジメント(株)、森永乳業(株)、(株)八雲ソフトウェア、ユニチカ(株)、(株)Link-U、(株)Relic、和歌山セイカホールディングス(株)(五十音順)

#### 官公庁等

国土交通省、御坊市

### 令和5年度本科進学先

和歌山高専専攻科、室蘭工業大学、東北大学、茨城大学、東京工業大学、東京農工大学、長岡技術科学大学、金沢大学、福井大学、岐阜大学、豊橋技術科学大学、和歌山大学、岡山大学、徳島大学、愛媛大学、九州大学、大阪公立大学、豊田工業大学

### 令和5年度専攻科就職先

#### 企業

エスケー化研(株)、大阪ガスネットワーク(株)、omeroid(株)、(株)カネカ、関西エアポートテクニカルサービス(株)、(株)クボタ、(株)島精機製作所、全星薬品工業(株)、ダイキン工業(株)、大成建設(株)、大日精化工業(株)、チームラボ(株)、中外製薬工業(株)、(株)長大、パーソルクロステクノロジー(株)、ホソカワミクロン(株)、三木理研工業(株)、三菱重工業(株)、三菱電機(株)冷熱システム製作所、(株)Link-U(五十音順)

#### 官公庁等

和歌山県

### 令和5年度専攻科進学先

豊橋技術科学大学大学院、大阪大学大学院、神戸大学大学院、九州工業大学大学院

## 学生の活躍

研究発表、コンテストへの参加、クラブなどの活動に多くの成果をあげています。2023年度における主な活躍は下記のとおりです。



### 高専防災減災コンテストで「文部科学大臣賞」「高専機構賞」W受賞

第2回高専防災減災コンテスト(主催:高専機構、防災科学技術研究所、国際科学振興財団)で、環境都市工学科5年の谷口晃祥さんと専攻科工コシステム工学専攻2年の片嶋将人さんが「文部科学大臣賞」(最優秀賞)を受賞しました。また、環境都市工学科5年の小森琳央さんが「高専機構賞」を受賞しました。本校学生による文部科学大臣賞の受賞は、昨年度に引き続き2年連続となりました。



### 令和5年度「海の日」国土交通省近畿地方整備局長表彰を受賞

環境・福祉ボランティアサークル amoeba(アモエバ)が、「令和5年度「海の日」国土交通省海事功労者等表彰記念式典」において、国土交通省近畿地方整備局長表彰を受賞しました。同表彰は、海をきれいにするための奉仕活動を長年続けている一般団体などを表彰するもので、知能機械工学科4年の北口康介さんが、「海をきれいにするための一般協力者の奉仕活動の部門」代表に選ばれ、表彰状が授与されました。



### 高専ロボコン2023近畿地区大会で2年連続優勝

「アイデア対決・全国高等専門学校ロボットコンテスト2023」近畿地区大会で、和歌山高専Aチームが優勝、Bチームが準優勝を果たしました。今年度は、「もぎもぎ!フルーツGOラウンド」と題して、自作したロボットで障害物乗り越え、フルーツに見立てて吊り下げられた様々な色のボールを収穫してその合計点を競う競技でした。



### 「高専ビジネスコンテスト2024in鈴鹿高専」にて受賞

「高専ビジネスコンテスト2024in鈴鹿高専」が開催され、生物応用化学科4年の堀甲希さんがチャレンジ賞を受賞しました。堀さんは、「UNse-project(アンズ-プロジェクト)」と名付けたアイデアで出場し、自らデザインしたオリジナルキャラクター「鮭崎マオ(しびさきまお)」のプロデュースを目的とした企画で「ハンドメイドキャラクター」のビジネスモデルを提案し、高い技術力が評価されました。



### 留学生による日本語スピーチコンテストで3位&特別賞

和歌山大学において、「第21回学長杯留学生による日本語スピーチコンテスト」が開催され、本校留学生、知能機械工学科の4年ウィーン・ジュンティンさん(マレーシア出身)が第3位、生物応用化学科の3年アマール・ツブシンミチドマーさん(モンゴル出身)が特別賞を受賞しました。



### TUT-高専太陽電池合同シンポジウムで優秀ポスター発表賞受賞

第13回TUT-高専太陽電池合同シンポジウムにおいて、専攻科工コシステム工学専攻2年の赤松兵馬さんが優秀ポスター発表賞を受賞しました。このシンポジウムは、高専と豊橋技術大の太陽電池関連の研究者や学生が集まって毎年開催されています。

# 総合教育科 Faculty of Liberal Arts

総合教育科は、4学科共通の基礎教育科目である数学、理科、国語、社会、外国語、体育、芸術などで構成され、全学科の学生が学びます。

高度な専門教育をより確実により深く学ぶための準備段階として、言語、論理、感性、社会、健康に関する授業カリキュラムが編成されています。

## 総合教育科 学習の心得

### 1 「論理的思考を楽しむ」

自由な視野のもとで事物の本質を論理的に考え、ときには前提となる基盤さえも柔軟に更新するほどの論理的思考を楽しむ。

### 2 「驚きとともに学ぶ」

共感をもって人と自然から謙虚に学び、驚きとともに問題を発見する行為を通じて、学ぼうとする自己を新鮮に保つ。

### 3 「他者を知って助けあう」

心身を健やかに保ち、折り目正しく、物怖じせず、礼を重んじることで、ともに助けあえる協力関係を作る。



数学

技術者には物事を数学的に深く理解する力が求められます。高専では、このような数学の利用を想定して、学習の内容や順番が決まっています。



理科

高専における理科は、専門工学の基礎となる物理・化学の学習が中心ですが、地球環境に対する理解を深めるため、生物・地球科学も学習します。



国語

技術者にとって欠くことのできない、生産的な言語コミュニケーション能力の獲得を目的として、情報の受信から発信に至る日本語能力を、論理的思考・言語的感性の両面にわたって育成します。



社会

社会の歴史・現在を様々な角度から考察し、社会の分析・考察する能力を高め、科学技術が現代社会にとって持つ意味を多角的に捉えます。



英語

技術者に要求される実践的コミュニケーションに対応するため、「英語で積極かつ能率的に情報を受信・発信できる能力」を養います。



体育

保健・体育、芸術を通じて、心身の健康を培い、論理的思考はもちろんのこと、社会人として、あるいは人間として必要な、豊かな感性と表現力を養います。

## || 総合教育科のカリキュラム

1年	2年	3年	4年	5年
数学				
物理				
化学				
サイエンス実習				
総合理科				
国語				
		思考と表現		
歴史総合	世界史探究	公共	政治・経済	地域と文化
日本史探究	地理総合			
	わかやま学			
英語総合			英語	
英語表現	英会話	英文法	第2外国語	
保健・体育				
芸術				

### 総合教育科の特色 ～ こんなところに力を入れています ～

総合教育科の担当する教育分野は自然・人文・社会の多岐にわたっており、そのレベルは高校から大学におよびます。これらは大学の一般教養に類似のものとして理解されることもありますが、高専での位置づけは大きく異なっています。高専では「技術者の育成」という目標を5年間で達成することに特化した教育と学習の計画(モデルコアカリキュラム)が組み立てられており、技術者に必須とされる素養の教育担当が低学年から高学年に向かって総合教育科から専門学科へグラデーションを持って入れ替わります。そこには高校と大学の間にある大学入試の様な小人数を選抜する壇はありません。学生全員が各自の選択に沿った技術者になるための枝分かれしてゆく幾多の過程が存在し、学生はそれを最後まで走り切る必要があります。総合教育科が主に担当する低学年教育は、この枝分かれ前後の幹や主枝に相当し、「選択のための感性」と「走り切るための体力」を養うものであるため、専門教育に進む個々の学生に与える影響は非常に直接的かつ恒常的なものとなっています。

### Voice ～ 在校生、教員の声 ～

岸 直輝さん 生物応用化学科2年生



当初は、学習や人間関係において本当にやっていけないのかわかりませんでした。しかし、良い友人や先輩、優しい先生のおかげで、安心して学校生活を送れています。また、高専でしかできない経験も沢山させて頂いています。今は、スケジュール管理に慣れてきて学習と楽しむことを両立でき、楽しい学校生活を送れています。

総合教育科 梶島 雅弘 助教(漢文学)



総合教育科での学習は、様々な基礎能力を高めることに繋がります。例えば、国語や英語によって、他者と良好な関係を築くためのコミュニケーション能力が培われます。数学や物理によって、自身が直面する問題を分析・解決するための論理的思考力が鍛えられます。歴史を学び、現代社会の成り立ちを理解すれば、未来の変化を予測し対応することも可能です。生きていく上で必要な基礎能力について、一緒に高めていきましょう。

知能機械工学とは、ロボットや次世代自動車、医療福祉機器など、「考えて動く」機械システムの実現を目指す新しい学問分野です。本学科では、物理・数学・英語などの教養科目で基礎を固め、材料・熱・流体・機械力学に代表される機械工学に電子制御・情報工学を加えた専門科目で応用力を磨く複合的カリキュラムを準備しています。広範囲の知識と技術を持ち、環境(SDGs)にも配慮しながら行動できる次世代のものづくり技術者の育成をめざしています。

### 知能機械工学科で修得する能力

- 機械工学分野に関する幅広い最新の知識・技術を活用して課題を解決できる能力。
- 地球環境の保全、地域社会との共生など、公共の安全・利益に配慮した倫理的な考え方ができる能力。
- 学問的知識を駆使し、諸問題を的確に理解・分析し論理的に思考できる能力。
- 国内外で通用するコミュニケーション能力とプレゼンテーション能力。



ロボットプログラミング導入演習 <1年生:コンピュータ入門>



コンピュータを使った設計(CAD) <2年生:機械設計製図>



図面に従ったロボットの部品加工と組み立て <2年生:工作実習>



競技ロボットの設計・製作 <3年生:ロボット創作実習>



協働ロボットのプログラミング <4年生:機械工学実験>



金属材料の特性調査実験 <5年生:卒業研究>

# || 知能機械工学科のカリキュラム

1年	2年	3年	4年	5年	卒業研究
	工業力学	材料力学		振動工学	
		材料学		材料強度学	
		熱力学	工業熱力学		
		水力学	流体力学	流体工学	
		機械設計法		機械システム工学	
	機械工作法			生産管理工学	
	機械設計製図		計測工学		
工作実習		ロボット創作実習	機械工学実験		
コンピューター入門	機構学	情報処理		情報工学	
			自動制御	メカトロニクス設計	
		電子制御			
		応用物理	応用数学		
			学外実習 県内インターンシップ	工業外国語	

## 学科の特色 ～こんなところに力を入れています～

機械工学の基幹である機械設計製図や工作実習などの実習系科目と機械四力などの座学に加えて、機械の知能を支える電気電子工学や情報工学を1年次から段階的かつ継続的に学ぶことができるように配慮しています。高専ロボコンや公開講座、研究会などの学外行事に参加して、授業で学んだ知識や力を試すことができます。



高専ロボコンでの活躍



子ども向け公開講座で講師を担当



研究成果を学会で発表

## Voice ～卒業生の声～

坂本 一樹さん 令和5年度卒業



高専は他の一般高校と異なり、低学年から専門分野の授業があり、職業に必要なスキルを早い段階から身につけることができます。私が所属していた知能機械工学科では、私たちの身のまわりに存在する機械製品を設計・製作するための知識を学ぶことができます。私は本科で5年間学んだ専門分野の知識を活用し、就職先でも奮闘しています。

上村 綜次郎さん 令和元年度卒業



私は編入学した豊橋技術科学大学で〈弱いロボット〉の研究をしています。研究ではロボットを1から作ってプログラミングをします。その後には、HRI研究というのですが、子どもや学生にロボットとのコミュニケーションを体験してもらったりもします。高専では知識だけでなく体験を通して学ぶことができたので、研究にも役立ちました。現在はスズキ株式会社でクルマに関わる仕事を勉強中です。ものづくりは楽しいですよ！

電気情報工学科では、豊かな生活を支え、社会、産業の発展に大きく寄与している電気・電子・情報・通信などの基礎技術を身につけ、日々進歩し続ける電気情報技術に柔軟に対応できる課題発見と解決の能力を備えた技術者を育成します。

## 電気情報工学科で修得する能力

- 電気工学分野及び情報工学分野に関する幅広い最新の知識・技術を活用して課題を解決できる能力。
- 地球環境の保全、地域社会との共生など、公共の安全・利益に配慮した倫理的な考え方ができる能力。
- 学問的知識を駆使し、諸問題を的確に理解・分析し論理的に思考できる能力。
- 国内外で通用するコミュニケーション能力とプレゼンテーション能力。



5B実験(オペアンプ特性測定実習)



3B実験(電動機)



講義(システム設計)



卒業研究



卒業研究(中間発表会)



研修旅行(沖縄)

# 電気情報工学科のカリキュラム

1年	2年	3年	4年	5年	卒業研究	
計算機入門	計算機アーキテクチャー		情報通信	OSとセキュリティ		
情報処理		アルゴリズムとデータ構造	システムインテグレーション	AIサイエンス		
		応用物理	応用数学			
	電気回路		回路網理論			
	マイクロコンピュータ		電子回路	IC応用回路		
			電子計測	電気材料		自動制御
			電気機器	電子工学		
			電気磁気学			パワーエレクトロニクス
			送配電工学	発電工学		高圧工学
			工業外国語	システム設計		電気設計
			学外実習 県内インターンシップ	電気法規・電気施設管理		
電気情報工学実験						

## 学科の特色 ～ こんなところに力を入れています ～



電気情報工学科では、電気・電子・情報系分野の講義や実験を通して、人類の未来を切り拓くことのできる人材育成を行っています。そのため、最新テクノロジーを積極的に実験や実習に取り入れています。例を挙げると、人工知能(AI)・仮想現実(VR)・IoTといった最新のIT技術について、講義以外にも卒業研究として学生にも取り組んでもらっています。

## Voice ～ 卒業生の声 ～

岸 華音さん 令和5年度卒業



卒業後はJR東海に就職が決まっています。日本の交通の大動脈を担い、人々の暮らしを支える仕事に魅力を感じました。私は電気・システム系統に所属しているため、主に鉄道の高い安全性や正確性を保つために、電気インフラ設備の開発、仕様検討、導入、メンテナンスを行います。入社後は、先輩方や同期の方々とチームとしてコミュニケーションを取りながらやりがいと責任感をもって働きたいです。

天野 椋也さん 平成22年度卒業



和歌山高専で技術職員をしています。今は電気情報工学科で先生のサポートや学生実験実習など教えています。かつての母校で指導してくださった先生と共に学生の成長のために充実した日々を過ごしています。在学中に見つけた知識や技術を少しでも学生に伝え、学生が和歌山高専に来て良かったと思い、立派なエンジニアや研究者となってもらえるようにこれからも尽力していきたいと思えます。

生物応用化学科では、物質の分析・合成・分離に関する化学的知識・技術、ならびに、生物のタンパク質や遺伝子に関する工学的知識・技術を身につけ、自ら課題・問題を発見し、地球環境保全を十分考慮しながら、それらに柔軟に解決できる能力を備えた技術者を育成します。4年生からは「応用化学コース」と「生物化学コース」に分かれ、より専門的な学習をします。

## 生物応用化学科で修得する能力

- 応用化学分野及び生物工学分野に関する幅広い最新の知識・技術を活用して課題を解決できる能力。
- 地球環境の保全、地域社会との共生など、公共の安全・利益に配慮した倫理的な考え方ができる能力。
- 学問的知識を駆使し、諸問題を的確に理解・分析し論理的に思考できる能力。
- 国内外で通用するコミュニケーション能力とプレゼンテーション能力。



1年生 生物応用化学実験I



2年生 生物応用化学実験II



3年生 生物応用化学実験III(自由実験テーマ)



3年生 スタートアップ工場見学



4年生 生物応用化学実験IV



5年生 卒業研究(NMRを用いた構造解析)

# 生物応用化学科のカリキュラム

1年	2年	3年	4年	5年
	化学	応用物理		計測制御工学
情報処理		情報処理	応用数学	
生物応用化学入門	有機化学	高分子化学	材料化学	合成化学
		無機化学		天然資源化学
		分析化学	機器分析	移動速度論
		物理化学		反応工学
			化学工学	
	生物	生命科学	生物化学	生物資源科学
			分子生物学	
			発酵科学	食品工学
			学外実習 県内インターンシップ	地域イノベーション工学特論
				先端工学概論
生物応用化学実験Ⅰ	生物応用化学実験Ⅱ	生物応用化学実験Ⅲ	生物応用化学実験Ⅳ	工学ゼミナール

卒業研究

## 学科の特色 ～こんなところに力を入れています～

低学年のうちから教員の指導の下で研究活動を行い、それらの研究成果が評価されています。また、自主的に実験を考えて工夫し、ジュニアドクター育成塾やイベントなどを通して子供や地域の方々に指導しています。



コンテストでの受賞



ジュニアドクター育成塾での指導



オープンキャンパスのスタッフ

## Voice ～卒業生の声～

岩崎 なつねさん 令和5年度卒業



私は高専卒業後は大学に進学し、現在は工学部で応用化学を専攻しています。将来は研究職に就きたいと考えており、修士号を取得するために進学を決めました。大学の講義や実験では高専で既に学んだ内容も多くあります。低学年時から専門科目を学び、実験などの実践ができるのが高専の大きな強みです。皆さんも高専で自分の好きを究めて将来の活躍の場を広げてみませんか。

原口 雅常さん 令和4年度卒業



現在私は、高専で学んだ生物化学の知識を活かし、お酒の製造を行っています。高専では自分の学びたいことを専門的に、楽しく学ぶことができました。勉強面だけでなく、部活動や定期的なイベントもあり、振り返ると充実した学校生活でした。文武両道でいるんなことに挑戦できる高専があったからこそ今の自分があると思います。ぜひ高専で、多くのことを学び、良い未来を築いてください！

環境都市工学科が目指すのは、社会基盤施設の整備を通じ、人や地域、社会全体を互いに「つなぎ、守り、支える」ことができる人の育成です。その実現のため、本学科は建設、環境保全、防災、まちづくりの4分野に関する専門の教員を擁し、それぞれの授業科目と実験実習科目を備えています。

## 環境都市工学科で修得する能力

- 土木工学分野に関する幅広い最新の知識・技術を活用して課題を解決できる能力。
- 地球環境の保全、地域社会との共生など、公共の安全・利益に配慮した倫理的な考え方ができる能力。
- 学問的知識を駆使し、諸問題を的確に理解・分析し論理的に思考できる能力。
- 国内外で通用するコミュニケーション能力とプレゼンテーション能力。



水理実験室にて実験開始を待つ学生



土の特性を調べる試験においてのふるい分け作業



測量実習(1):キャンパス内での測量



測量実習(2):図面作成



全国高専デザコン参加に向けた打ち合わせ



鉄筋コンクリート梁の強度試験

# 環境都市工学科のカリキュラム

1年	2年	3年	4年	5年	卒業研究
		情報・基礎科目			
情報リテラシー	基礎情報処理演習		応用情報処理演習		
		応用物理	応用数学		
専門基礎	建設系				
環境都市工学通論	構造力学				
防災学概論	建設材料学	コンクリート構造学	施工管理学	社会基盤メンテナンス工学	
			橋梁工学	振動工学	
		水理学			
			河川工学	海岸工学	
	測量学				
基礎製図I		測量学実習		設計製図III	
		土質力学		地盤工学	
		基礎実験			
	環境系				
	環境工学基礎	環境工学			
		計画系			
		都市地域計画	計画数理		
			交通システム		



その他にも、魅力的な科目は色々あるよ!  
 ・海外異文化交流(留学) ・環境都市工学演習  
 ・学外実習 ・県内インターンシップ等…

## 学科の特色 ～ こんなところに力を入れています ～

トンネルなどの施工現場見学や、建設機械の操縦体験などで建設技術を体験できるほか、さまざまなコンテストに参加できるサポート体制を整えています。また、大学との研究交流や、大学の先生を招き最新の技術・研究についてお話しいただくなど、学生自身がよりよい将来を考える機会を提供しています。



現場見学にも毎年出かけしています



大学の先生をお招きしての特別講義

### 資格試験にも 多数合格しています

〈2023年度の合格者〉  
 技術士1次試験 …………… 15名  
 2級土木施工管理技士 …… 28名  
 環境社会検定 …………… 20名  
 TOEIC730点以上 ………… 1名

## Voice ～ 卒業生の声 ～

石田 力也さん 令和5年度卒業



環境都市工学科では低学年から専門科目や実験・実習があり、早くから土木分野に関する知識・技術に触れられたのが良かったと思います。また、環境都市工学科で学んだ内容は土木分野以外にも応用できることが多く、日々の生活にも役立っています。専門科目と聞いて不安に思う人もいますが、優しい先生方が授業をしてくださるので安心して高専に来てください。

岡田 卓真さん 平成30年度卒業



戦国時代の名将・武田信玄が詠んだ歌に「人は城、人は石垣」という一節があります。これは「人は、どんな城や石垣にも勝る」という人の重要性を説いており、現に多くの人の協力が無ければ橋やトンネル等の土木構造物を作ることはできません。現在は異業種のベンチャー企業でITエンジニアをしていますが、環境都市工学科で学んだ土木業界の心構え(ウェットな心構え)があるからこそ取り組んでいることも多くあると感じています。

専攻科は、高専本科卒業生およびこれと同等の資格を有する社会人等を対象として、さらに深く、幅広く教育研究を行う2年制の課程です。本科の4、5学年と合わせて「地域環境デザイン工学」教育プログラムを設定し、①持続可能な社会の形成に活かせる創造力、②多面的に問題を発見し、解決する能力、③豊かな人間性と国際性を備えた人材を育成します。

専攻科には、メカトロニクス工学専攻とエコシステム工学専攻の2専攻があり、それぞれでこれまで行ってきた卒業研究等をさらに深く探求する特別研究を実践し、広く国内外の学会等で成果を発表しています。専攻ごとの定員が8名であることから、多くの講義が少人数で行われ、教員とのフェイス ツー フェイスによる指導で、確かな実力が身につきます。

また、(独)大学改革支援・学位授与機構から特例適用専攻科の認定を受けており、専攻科修了をもって大学の工学部卒業生と同じ学士(工学)の学位を取得できます。

### メカトロニクス工学専攻

メカトロニクス工学専攻では、知能機械工学科および電気情報工学科において修得した知識と技術を基盤に、メカニクスとエレクトロニクスを融合した計測・制御、電子・情報、材料、設計・加工等の高度な知識と技術を学びます。さらに、何らかの制約が与えられた条件の下、自らが問題を提起し、解決法を見出し、実行する訓練を行います。これにより、企業等で製品や製造プロセスの設計・開発を行うことのできる技術者、または大学院でさらに高度な知識と技術を修得できる素養を持つ人材を育成します。

### エコシステム工学専攻

エコシステム工学専攻では、生物応用化学科および環境都市工学科において修得した知識と技術を基盤に、両専門分野を総合するとともに、環境問題を幅広く考慮することを重視した指導を行います。これにより、幅広い視点に立ち、人類に役立つ物質を化学やバイオ技術を駆使して創造できる能力、あるいは都市環境を形成する土木構造物や環境システムの設計・開発等を行うことのできる能力、さらには、地球環境保全にも十分に対応できる能力等を備えた先端技術者を育成します。



特別研究に関するコンテストでの表彰



デジタルマイクロスコープ

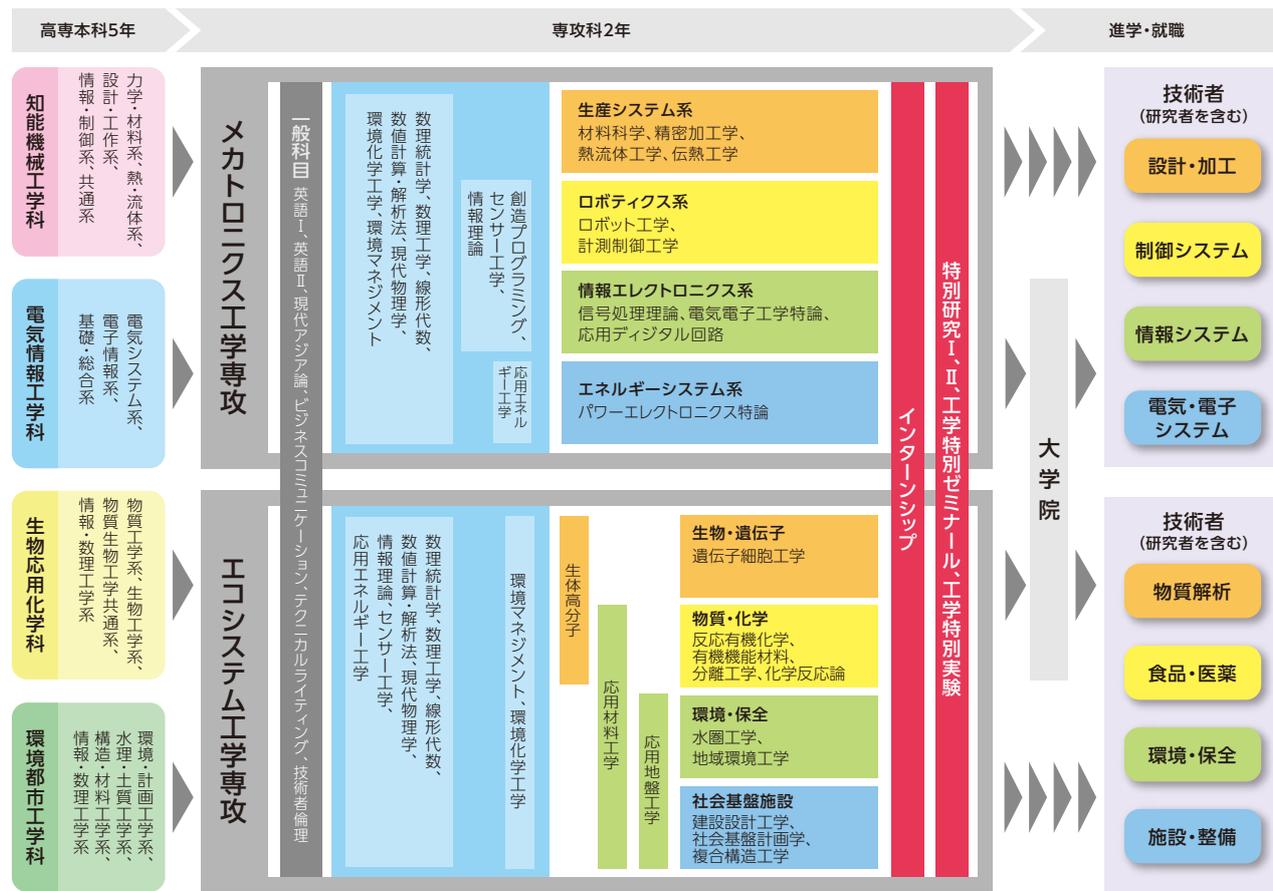


足底圧分布から介助者の姿勢を推定する研究



PCR法によるDNAの増幅

# 各専攻のカリキュラム



## 各専攻の特色 ～ こんなところに力を入れています ～

工学特別実験では、前半は創造デザインと題して、出身学科の異なる学生がグループになり、それぞれの専門技術に関する実験を行い、与えられた課題解決に取り組みます。後半は地域環境デザイン工学に関する実験・演習と題して、さらに専門性を深めることを目的とし、主に地域に関する問題点に対して実験・演習を行います。

インターンシップでは、企業・自治体等における就業体験や大学院における研究室体験を行っています。各専攻に関わる技術等についてより実践的に学修する機会を提供しています。

特別研究では、指導教員のもとでテーマを設定し、2年間かけて研究を実施します。研究テーマは社会のニーズや地域の諸課題等を考慮して設定できます。研究成果は国内外の学会等で大学生・大学院生に混じて発表しています。

専攻科修了後は、企業の技術者、公務員、大学院進学などの進路があり、希望の進路に進むことができるような学修内容が提供されています。

## Voice ～ 修了生の声 ～

中嶋 崇喜さん 平成15年度修了



私は和歌山高専の専攻科第一期生として、次世代薄膜太陽電池に関する研究に打ち込んでいました。専攻科修了後は大学院に進学し、その後、企業へ就職しました。現在は、本校の電気情報工学科の教員として研究・教育に従事し、後輩となる学生を指導する立場となりました。専攻科では、慣れ親しんだ環境で、本科よりさらに高度な専門知識を学ぶことができ、多くの時間を最先端の研究に使えることが魅力だと感じています。

得津 椋生さん 令和3年度修了



専攻科では5年間慣れ親しんだ環境で勉強や本科での研究など自分の学びたいことに専念できたことでより深い知識ができました。異なる学科の卒業生と同じ専攻に所属するため、グループワーク等の交流を通して自らの知識を広げることができるのも専攻科の魅力の1つです。専攻科で学んだ経験や知識は、技術者・研究者になっても有用なものになってくると思います。ぜひ専攻科進学を検討してみてください。

## II クラブ活動

学生は、クラブ活動を通して、高専体育大会、高専ロボコン大会、高専各種コンテスト、県高校体育連盟、県高校野球連盟等の競技大会で活躍しています。また、演奏会や公開講座などによって地域の文化向上にも貢献しています。

### 体育系クラブ

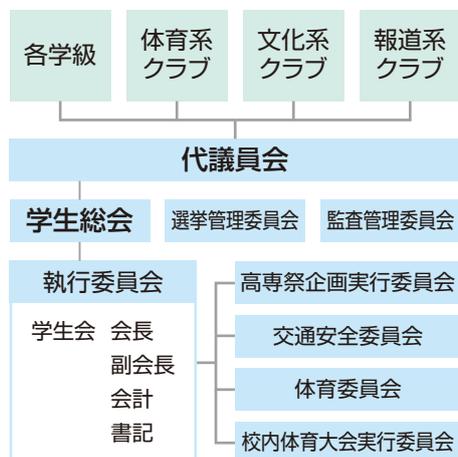
陸上競技部、硬式野球部、サッカー部、テニス部(硬式)、ソフトテニス部、水泳部、バレーボール部(男女)、バスケットボール部(男女)、バドミントン部、卓球部、ハンドボール部、柔道部、剣道部、弓道部

### 文化系クラブ

ロボコン部、コンピュータ部、吹奏楽部、軽音楽部、サイエンス同好会、音楽同好会、写真部、総合美術同好会、ボランティアサークル・アミーバ

## II 学生会

本会は、学生の自発的な活動を通してその人間形成を助長することを目的に学生会員で構成されています。学生会の活動中心である執行委員会は、高専祭、体育大会などを主催するほか、近畿地区高専との交流会等を通じ、自主活動の研鑽に努めています。



R5高専大会柔道競技で個人戦入賞



近畿地区高専大会 バレーボール競技



高専ロボコン2023近畿地区大会 優勝



ボランティアサークル・アミーバ(清掃作業の様子)



高専祭 ステージ企画



校内体育大会 バスケットボール



コンクリートカーヌー競技大会 3位入賞

学生達が参加している主なコンテスト一覧

コンテスト名
全国高等専門学校ロボットコンテスト
英語プレゼンテーションコンテスト
プログラミングコンテスト
デザインコンペティション
マリンチャレンジプログラム
コンクリートカーヌー競技大会
The Championship of Robotics Engineers
高専防災減災コンテスト
サイエンスキャッスル

## II 国際交流

グローバル人材の育成を促進する本校では、2010年春に学内に国際交流会館を設置し、学校同士の交流に活用しています。2004年から学生交流を継続して実施している上海電機学院(中華人民共和国)に加え、2016年からはアトマジャヤ大学およびスラバヤ工科大学、2017年よりボゴール農科大学(いずれもインドネシア共和国)との学生交流も展開しており、ますます国際的に開かれた高等教育機関を目指した運営を行っています。学術交流協定を締結している上記大学には、これまでに延べ215人(上海196人、インドネシア19人)の学生が留学しています。これらの学生は、文部科学省とJASSO(日本学生支援機構)が実施している「トビタテ!留学JAPAN」をはじめとしたさまざまな海外留学制度を利用しています。海外渡航が解除された2024年3月には、上海電機学院の学生との中国文化交流、インドネシアのIPB大学でのグローバルインターンシップ事業に多くの学生が参加しました。

また、2024年にはマレーシア、チュニジアから新たに2人の留学生を迎え、合わせて9人の留学生たちが日本人学生とともにプロフェッショナルな技術者を目指して学んでいます。



上海電機学院との文化交流

## 学生寮(柑紀寮)

こうきりょう

集団生活を通じて人間形成を図る教育の場として、学生寮(柑紀寮、定員525人(男子399人、女子126人))を設置しています。

協力と信頼に基づく集団生活から、自立と協調の精神や豊かな人間性が養われます。寮生活や学習の指導には、上級生の指導寮生があたり、寮生で組織された寮生会が、学寮生活に彩りを添える、さまざまな行事を開催します。

第1、第2学年の男子学生は、原則として全寮制となっています。第3学年以上の男子学生及び全学年の女子学生の入寮は任意となり、選考により入寮を許可します。(入寮許可期間は1年間です。)

現在、3号館が改築中であることから、入寮者数を制限して運用しています。

男子寮6棟(男子学生387名)女子寮2棟(女子学生112名)  
合計499名(留学生・専攻科生を含む)

各室定員 1~3年は1~2名、4年以上は1名

寄宿料 700~800円(月額)  
※光熱水費等は別途負担

各室備品 学習机・書棚・ベッド・ロッカー・エアコン・インターネット接続用モジュラージャック

補食室備品 冷蔵庫・電子レンジ・IHコンロ

洗濯室備品 洗濯機・乾燥機

交流スペース(談話室)備品 テレビ・エアコン・インターネット接続用無線LAN

各学年全学生中に入寮率

1年生	86%
2年生	77%
3年生	62%
4年生	47%
5年生	30%
専攻科生	22%
男子	60%
女子	54%

### 学科、学年別の入寮者数

2024年5月1日現在

	1年	2年	3年	4年	5年	専攻科	計
知能機械工学科	38(2)	31(4)	27 <sup>(2)</sup> <sub>(1)</sub>	22 <sup>(3)</sup> <sub>(1)</sub>	19 <sup>(2)</sup> <sub>(1)</sub>		137 <sup>(13)</sup> <sub>(3)</sub>
電気情報工学科	34(7)	32(7)	26 <sup>(1)</sup> <sub>(0)</sub>	21 <sup>(1)</sup> <sub>(1)</sub>	14 <sup>(4)</sup> <sub>(1)</sub>		127 <sup>(20)</sup> <sub>(2)</sub>
生物応用化学科	36(14)	34(15)	26 <sup>(11)</sup> <sub>(1)</sub>	19 <sup>(6)</sup> <sub>(1)</sub>	9 <sup>(5)</sup> <sub>(0)</sub>		124 <sup>(51)</sup> <sub>(2)</sub>
環境都市工学科	34(11)	24(6)	20 <sup>(5)</sup> <sub>(0)</sub>	18 <sup>(4)</sup> <sub>(1)</sub>	6 <sup>(0)</sup> <sub>(0)</sub>		102 <sup>(26)</sup> <sub>(1)</sub>
メカトロニクス工学専攻						5(1)	5(1)
エコシステム工学専攻						4(1)	4(1)
計	142(34)	121(32)	99 <sup>(19)</sup> <sub>(2)</sub>	80 <sup>(14)</sup> <sub>(4)</sub>	48 <sup>(11)</sup> <sub>(2)</sub>	9(2)	499 <sup>(112)</sup> <sub>(8)</sub>

( )内は女子内数 ( )は外国人留学生内数



柑紀寮全景



男子寮居室



女子寮居室



寮食堂



寮食メニュー



交流スペース



避難訓練



寮祭(バレーボール大会)



留学生交流会

## 研究活動・地域との連携

### 地域共同テクノセンター

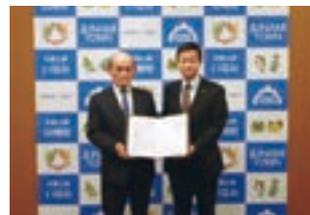
地域共同テクノセンターは、地域との交流活動を行うことを目的として1995(平成7)年に開設されました。以来、各学科の多岐にわたる教育研究の特徴を活かし、地域産業界の動向や要請を十分に組み入れた技術者教育や共同研究等を推進してきました。

#### 地域共同テクノセンターでの主な活動内容

- 1 地域産業への技術協力
- 2 共同研究・受託研究の推進
- 3 公開講座・出前授業等を通じた社会貢献
- 4 学生に対する地域基盤型科学技術教育の充実



御坊市との包括連携協定締結



印南町との包括連携協定締結

1997(平成9)年には、地域との更なる連携を目的として、本校と御坊市域の企業等で構成される「和歌山工業高等専門学校産官学技術交流会」が、1999(平成11)年には田辺市域の企業を主要会員とする「南紀熊野産官学技術交流会」が発足しました。

また、2008(平成20)年に地域経済の活性化を目的として(株)紀陽銀行と包括的な連携協定を、2011(平成23)年に近畿7高专と(財)大阪科学技術センターとが産学連携事業実施に係る覚書を、同年12月に(独)産業技術総合研究所関西センターと連携・協力に係る覚書を締結しました。加えて2016(平成28)年には、地元企業からの技術相談等への迅速な対応と事務の簡略化を目的に(公財)わかやま産業振興財団と連携協定を締結しました。さらに地域自治体と連携を深めるため、2020(令和2)年には御坊市と、2021(令和3)年には印南町と包括連携協定を締結し、教育や防災、地域経済を支援する研究などに係る連携を、2023(令和5)年には有田市教育委員会と連携協定を締結し、小中学校の科学教育分野の支援等に関する連携を開始しました。高专間では、2018(平成30)年には三重県の鳥羽商船高等専門学校と包括連携協定を締結し、「海」をキーワードにした教育・研究で紀伊半島横断型の連携を深めています。

#### 地域産業との技術交流

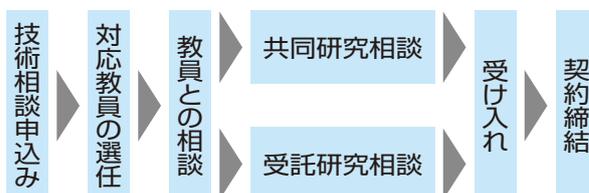
地域共同テクノセンターでは、「研究協力、技術協力や技術相談への対応」および「地域産業界との交流促進」を重要な方針と位置づけて、本校の得意技術分野で地域産業界からの要請に即応できる体制を整えています。さらに、地域産業界への情報発信と意見交換の場として、技術交流会、技術懇話会、教育研究発表会、テクノサロン、技術講演会等々を外部と連携しながら積極的に開催しています。また、地域の防災に関する取組を通じて地域の防災力の強化も目指していきます。

人材育成の活動としては、2015(平成27)年に地(知)の拠点(COC)校として文部科学省の認定を受け、学生に対する地域密着型の地方創生教育を充実させました。

また、各学科および技術支援室の教職員により、地域の小中学生を対象とした公開講座および出前授業等を開催してきました。2020(令和2)年からは「きのくにジュニアドクター育成塾」事業を開始し、小中学生への科学技術教育をさらに拡充させて地域の人材育成にも貢献しています。

なお、これらイベントについては、コロナ禍の間中はオンライン開催等の制約もありましたが、コロナ禍前の規模や開催数に戻り、地域貢献の基盤が復活しつつあります。

また、本校では種々の分析や測定向けに最先端の研究装置・機器を多数保有し、様々な研究や技術相談に対応しています。



きのくにジュニアドクター育成塾の様子



本校での公開講座の様子

詳細については、本校ホームページの地域共同テクノセンターのページで随時公開していますのでぜひご覧ください。

## メディアセンター

### 図書館

開館時間 平日：午前9時～午後9時(休業期間中は午後5時まで) 土曜：午前10時～午後4時(授業期間中のみ)

図書館では、専門書、学習参考書、一般教養書などの諸図書や新聞・雑誌など、および視聴覚資料としてビデオテープ・CD・DVDなどを備え、学生および教職員に種々の学術情報を提供しています。

また、地域に開かれた図書館としても情報サービスに努めており、和歌山県内の図書館及び図書室等との緊密な連携のもとに、図書館事業の充実と生涯学習の発展に寄与することを目的として、和歌山地域図書館協議会を組織し、所蔵資料の現物貸借や複写サービス等を提供しています。

### 蔵書数

2024年4月1日現在

		計
単行書	0. 総記	4,027 (冊)
	1. 哲学	3,956 (冊)
	2. 歴史	7,211 (冊)
	3. 社会科学	7,968 (冊)
	4. 自然科学	18,904 (冊)
	5. 技術	19,673 (冊)
	6. 産業	1,756 (冊)
	7. 芸術	4,082 (冊)
	8. 言語	5,394 (冊)
	9. 文学	15,223 (冊)
	計	88,194 (冊)
雑誌		412 (種)



### 情報処理教育センター

情報処理教育センターは、本校の教育・研究・地域連携活動を情報処理の側面から支える基盤施設です。

教育用パーソナルコンピュータ131台と教育用サーバー3台を設置し、コンピュータ利用の基礎、IT応用ソフトウェアの利用および各種のプログラミング言語学習の場を提供しています。また、高度情報化に対応する先端機器を設置し、学内に整備された光ファイバによるギガビットイーサネットを活用して、各研究室およびICTルームなどを世界とつなぎ、情報収集・発信する体制を整えています。



#### 学生用演習室

教育用PC…ICTルーム1 (50台)、  
ICTルーム2 (50台)、  
専攻科棟マルチメディア教室 (31台)

#### ICTルーム利用時間

平日：午前8時30分～午後5時



## ものづくりセンター

ものづくりセンターは、工作実習や工学実験、卒業研究や特別研究などの活動を支援する学内共同利用施設です。工作実習では、基本的な工具類の安全で正しい使用方法から、最新のCNC(コンピュータ数値制御)工作機械を用いた高度な加工方法までの技能を修得します。工学実験では、より高度な課題に取り組みます。研究で必要な材料や装置の製作にも利用されます。また、当センターは、ロボコンなど課外活動の場としても広く活用されています。



# 学年暦・学校行事

前学期		
 <ul style="list-style-type: none"> <li>● 入学式</li> <li>● 始業式</li> <li>● 創立記念日</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 入寮</li> <li>● 定期健康診断</li> <li>● 指導寮生任命式・研修会</li> <li>● 救急救命講習会</li> <li>● 学生会クラブ紹介</li> <li>● 寮生避難訓練</li> <li>● 新入生オリエンテーション</li> <li>● ウェルカミングパーティー</li> </ul>	4月
 <ul style="list-style-type: none"> <li>● 授業参観</li> <li>● 専攻科入学試験(推薦)</li> <li>● 専攻科入学試験(社会人)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 学生総会</li> <li>● 寮生総会</li> </ul>	5月
 <ul style="list-style-type: none"> <li>● 前期中間試験</li> <li>● 専攻科入学試験(学力)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 寮部屋替(1年)</li> <li>● 留学生スピーチ大会</li> <li>● 近畿地区高専体育大会</li> </ul>	6月
 <ul style="list-style-type: none"> <li>● 前期末試験</li> <li>● 保護者個別懇談(7~9月)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 校内体育大会</li> <li>● なるほど体験科学の祭典</li> <li>● 近畿地区高専体育大会</li> </ul>	7月
 <ul style="list-style-type: none"> <li>● 編入学試験</li> <li>● オープンキャンパス</li> <li>● 夏季休業</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 閉寮</li> <li>● 公開講座</li> <li>● 全国高専体育大会</li> </ul>	8月
 <ul style="list-style-type: none"> <li>● 寮関係</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 寮部屋替</li> <li>● 開寮</li> </ul>	9月

■ 入試関係  
■ 寮関係

## 後学期

10月	学校説明会	プログラミングコンテスト本選 ロボコン近畿地区大会 指導寮生任命式・研修会 ● 寮生避難訓練 寮祭
11月	後期中間試験	高専祭 ● 英語ブレコン近畿地区大会 ● ロボコン全国大会 ● デザインコンペティション 消防避難訓練 指導寮生研修会(他高専訪問) 上海電機学院から短期留学 進路指導説明会 産業勉強会
12月	冬季休業	閉寮
1月	学校長推薦入試 体験実習入試	学生総会 閉寮 寮生総会 英語ブレコン全国大会
2月	後期末試験 学力検査入試/帰国生徒 特別選抜入試 終業式	本科卒業研究発表会 閉寮
3月	卒業証書授与式 ● 学年末休業	上海電機学院短期留学派遣 ●

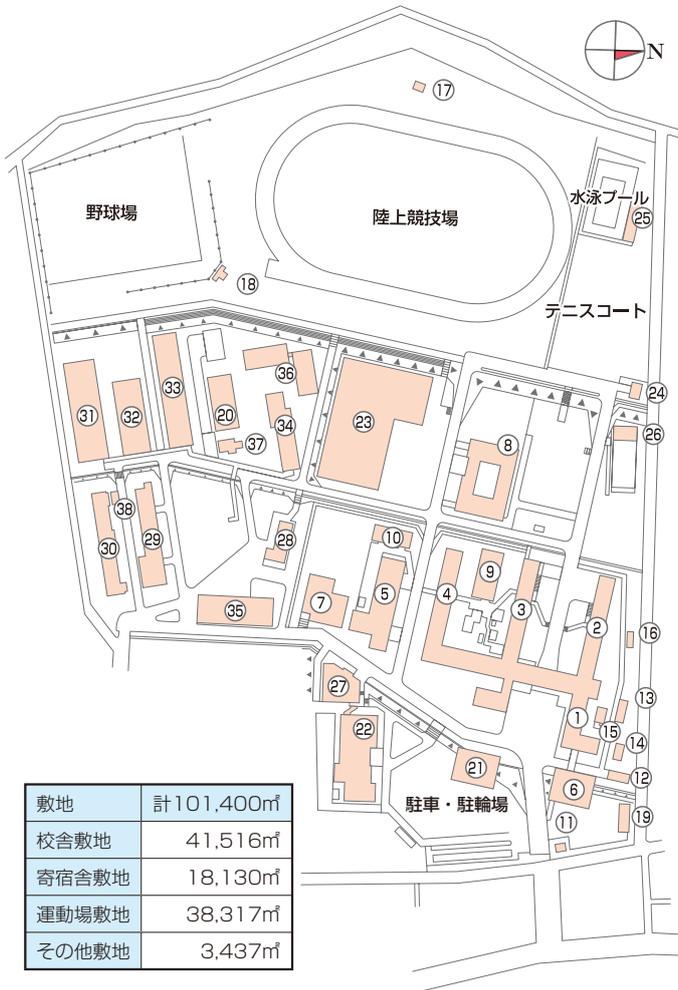


■入試関係  
■寮関係

# 校舎配置図



平成26年4月撮影



- 校舎**
- 1 本館(総合教育科・管理部)
  - 2 本館(生物応用化学科)
  - 3 本館(電気情報工学科)
  - 4 本館(知能機械工学科)
  - 5 環境都市工学科棟
  - 6 地域共同テクノセンター
  - 7 普通教室棟
  - 8 ものづくりセンター
  - 9 学生課
  - 10 水理実験室
  - 11 門衛所
  - 12 バス車庫
  - 13 事務倉庫1
  - 14 事務倉庫2
  - 15 用具倉庫
  - 16 危険物貯蔵所
  - 17 陸上器具庫
  - 18 体育用具庫
  - 19 車庫
  - 20 廃水処理施設
  - 21 専攻科棟
  - 22 メディアセンター

- 屋内運動場**
- 23 総合体育館
  - 24 体育器具庫
  - 25 プール附属屋
  - 26 弓道場

- 福利厚生施設**
- 27 福利センター・国際交流会館
  - 28 課外活動施設

- 寄宿舎**
- 29 寄宿舎1号館・事務室
  - 30 寄宿舎2号館
  - 31 寄宿舎3号館
  - 32 寄宿舎4号館
  - 33 寄宿舎5号館
  - 34 寄宿舎6号館
  - 35 寄宿舎7号館
  - 36 寄宿舎8号館
  - 37 寄宿舎ボイラー室
  - 38 寄宿舎電気室



学生の福利厚生施設

学生の福利厚生施設として、学生食堂、オープンラウンジ、アメニティルームがあります。屋外にもテーブルやベンチを設置しており、憩いの場として利用されています。また、女子学生更衣室も設置しています。

学生食堂



屋外ベンチと  
テーブルセット  
(オープンテラス)

女子学生  
更衣室



障害者への支援

障害者支援は、学生支援室を中心に対応し、個々の状況に応じて様々な支援を行います。また、車椅子でも移動できるよう、スロープ、エレベータ、自動ドアやバリアフリートイレなどの障害者用施設も充実しています。

スロープ



バリアフリートイレ  
(校舎6箇所、  
寮4箇所)

エレベータ  
(4基)



留学生への支援

和歌山高専では、たくさんの留学生が学習しており、生活や勉強の面で留学生を支えるチューター(学生)を3年次に配置しています。また、留学生を対象としたイベントや、留学生のための施設も充実しています。

留学生  
指導室



外国人留学生  
研修旅行

留学生日本語  
スピーチコンテスト



学生への健康支援

学生の健康管理・支援のため国際交流会館内の保健室に看護師が常駐しています。また、臨床心理士を委嘱し、週4回校内の「オレンジルーム」にてカウンセリングを行っており、校医のクリニックも校地に隣接しています。

保健室



国際交流  
会館入口



オレンジルーム



# データ集

## 教員一覧 30

総合教育科 教員  
知能機械工学科 教員  
電気情報工学科 教員  
生物応用化学科 教員  
環境都市工学科 教員

## 教育課程 31

一般科目教育課程  
知能機械工学科 専門科目教育課程  
電気情報工学科 専門科目教育課程  
生物応用化学科 専門科目教育課程  
環境都市工学科 専門科目教育課程  
メカトロニクス工学専攻 教育課程  
エコシステム工学専攻 教育課程

## 学生の詳細情報 33

〈本科〉  
学生の定員及び現員・入学志願者及び入学者  
高校からの編入学志願者及び編入学者  
〈専攻科〉  
学生の定員及び現員・入学志願者及び入学者  
  
在学生の出身地  
外国人留学生・奨学金・授業料免除

## 進路 35

〈本科進路〉  
就職・大学等編入学  
2023年度(令和5年度)本科卒業生進路先一覧  
〈専攻科進路〉  
専攻科修了生進学先一覧・専攻科修了生就職先一覧

## 外部資金等受入(2023年度) 39

## 協定等の締結(主なもの) 39

## 学生・教職員の主な受賞一覧 40

学生  
教職員

## 会計 41

# 教員一覧 (2024年5月1日現在)

## 総合教育科 教員

職名	氏名	専門分野
教授	修士(学術) 修士 KUWABARA Nobuhiro	体育方法学
	博士(理学) 秋山 聡 AKIYAMA Satoru	原子核理論
	博士(理学) 青山 欽生 AOYAMA Yoshio	情報処理
	博士(文学) 赤崎 雄一 AKASAKI Yuichi	歴史学(東南アジア)
	体育学士 中出 明人 NAKADE Akito	学校心理学
	博士(理学) 濱田 俊彦 HAMADA Toshihiko	数学(関数方程式)
	文学修士 和田 茂俊 WADA Shigetoshi	国文学(近現代)
准教授	修士(学術) 芥河 晋 AKUTAGAWA Susumu	スポーツバイオメカニクス
	博士(理学) 池田 浩之 IKEDA Hiroyuki	天文学
	博士(学術) 志村 幸紀 SHIMURA Yukinori	哲学、倫理学、第二言語習得論、スポーツ科学
	博士(人間科学) 原 めぐみ HARA Megumi	国際社会学、移民研究
講師	修士(教育学) 川崎 有里紗 KAWASAKI Arisa	歴史地理学
	博士(工学) 西嶋 政樹 NISHIJIMA Masaki	有機光化学、分子不斉
助教	博士(理学) 青井 顕宏 AOI Takahiro	複素幾何学
	博士(文学) 梶島 雅弘 KABASHIMA Masahiro	漢文学
	修士(文学) GRADY Clare クレイティクレア	中国語学
	博士(理学) 津野 祐司 TSUNO Yuji	代数学

## 知能機械工学科 教員

職名	氏名	専門分野
教授	博士(工学) 津田 尚明 TSUDA Naoki	ロボット工学、福祉工学
	博士(工学) 榎原 恵藏 KASHIHARA Keizo	機械材料学、材料強度学
	博士(工学) 大村 高弘 OHMURA Takahiro	熱工学
	博士(工学) 山東 篤 SANDO Atsushi	計算力学
准教授	博士(工学) 徐 嘉榮 XU Jiale	MEMS(微小な電気機械システム)
	博士(工学) 原 圭介 HARA Keisuke	接着工学、材料力学
	博士(工学) 村山 暢 MURAYAMA Toru	群ロボット、自律分散システム
講師	博士(工学) 石橋 春香 ISHIBASHI Haruka	計測工学、計測制御
助教	博士(工学) 李 政勳 LEE Jeonghoon	流体工学、燃焼工学

## 電気情報工学科 教員

職名	氏名	専門分野
教授	博士(工学) 山吹 巧一 YAMABUKI Kaichi	電力システム、雷保護設計
	博士(工学) 謝 孟春 XIE Mengchun	知能情報処理
	博士(工学) 岡本 和也 OKAMOTO Kazuya	ロボット工学、電子回路、生産技術
	博士(工学) 直井 弘之 NAOI Hiroyuki	半導体工学、電子材料
	工学修士 森 徹 MORI Toru	信号処理
准教授	博士(情報工学) 岩崎 宣生 IWASAKI Nobuo	信号処理
	博士(工学) 岡部 弘佑 OKABE Kousuke	ロボット工学、制御工学
	博士(工学) 竹下 慎二 TAKESHITA Shinji	電磁流体力学
	博士(工学) 中嶋 崇喜 NAKASHIMA Mitsuki	半導体工学、化合物薄膜太陽電池
助教	博士(総合情報学) 小出 英範 KOIDE Hidenori	音楽音響、ヒューマンインターフェイス

## 生物応用化学科 教員

職名	氏名	専門分野
教授	博士(工学) 綱島 克彦 TSUNASHIMA Katsuhiko	電気化学、有機電気化学、有機機能材料
	博士(工学) 奥野 祥治 OKUNO Yoshiharu	天然物化学、生物有機化学
	博士(工学) 岸本 昇 KISHIMOTO Noboru	化学工学、分離工学
	博士(工学) 楠部 真崇 KUSUBE Masataka	生物物理化学、高圧生理化学
	博士(工学) 森田誠一 MORITA Seichi	生体化学工学
准教授	博士(工学) 河地 貴利 KAWAJI Takatoshi	有機合成化学、超分子化学
	博士(理学) SETIAMARGA Davin ステイアマルガ デフィン	生物工学、分子生物学
	博士(工学) 西本 真琴 NISHIMOTO Makoto	生物物理化学、界面化学
助教	博士(理学) 舟谷 佑典 FUNASAKO Yusuke	有機材料化学、機能物性化学
	博士(理学) 矢野 大地 YANO Daichi	生化学、タンパク質工学

## 環境都市工学科 教員

職名	氏名	専門分野
教授	博士(工学) 林 和幸 HAYASHI Kazuyuki	地盤工学
	博士(工学) 三岩 敬孝 MITSUIWA Yoshitaka	土木材料学、コンクリート工学
	博士(工学) 小池 信昭 KOIKE Nobuaki	津波工学、海岸工学
准教授	博士(工学) 伊勢 昇 ISE Noboru	土木計画学、交通工学、都市計画
	博士(理学) 孝森 洋介 TAKAMORI Yousuke	宇宙物理学
	博士(工学) 山田 宰 YAMADA Osamu	耐震工学、構造工学
	博士(工学) 横田 恭平 YOKOTA Kyohei	環境化学、地球化学
講師	博士(工学) 竹村 泰幸 TAKEMURA Yasuyuki	環境保全工学、環境微生物学
	博士(工学) 櫻井 祥之 SAKURAI Shono	都市計画、地域計画
助教	博士(工学) 平野廣佑 HIRANO Hirotsuke	海洋建築工学、物質応用化学
嘱託教授	博士(工学) 辻原 治 TSUJIHARA Osamu	地震工学、構造工学

# 教育課程

## 本科

### 一般科目教育課程(令和6年度以降入学)

授業科目 必修科目	単位数	1年	2年	3年	4年	5年
国語	8	3	3	2		
思考と表現	1			1		
歴史総合	2	2				
日本史探究	1	1				
地理総合	2		2			
世界史探究	1		1			
公共	2			2		
政治・経済	2				2	
数学Ⅰα	3	3				
数学Ⅰβ	3	3				
数学Ⅱα	4		4			
数学Ⅱβ	2		2			
数学Ⅲα	3			3		
数学Ⅲβ	2			2		
物理	5	2	3			
保健・体育	10	3	2	2	2	1
芸術	1	1				
英語	2				2	
英語総合	10	4	4	2		
英語表現	2	2				
英会話	1		1			
英文法	2			2		
知能機械工学科・電気情報工学科・環境都市工学科 必修科目						
化学Ⅰ	2	2				
化学Ⅱ	2		2			
総合理科	1		1			
サイエンス実習	1	1				
生物応用化学科 必修科目						
化学Ⅰ	2	2				
化学Ⅱ	2		2			
総合理科	1	1				
サイエンス実習	1	1				
必修科目小計						
知能機械工学科	75	27	25	16	6	1
電気情報工学科						
環境都市工学科						
生物応用化学科						
選択科目	単位数	1年	2年	3年	4年	5年
わかやま*	1		1			
地域と文化 A	1					1
地域と文化 B	1					1
地域と文化 C	1					1
第2外国語 AI	2				2	
第2外国語 BI	2				2	
第2外国語 CI	2				2	
英語 A	2					2
英語 B	2					2
第2外国語 AII	2					2
第2外国語 BII	2					2
第2外国語 CII	2					2
海外異文化交流(留学)**	1	1	1	1	1	1
選択科目小計	21	1	2	1	7	14
開設単位数						
知能機械工学科	96	28	27	17	13	15
電気情報工学科						
環境都市工学科						
生物応用化学科						
修得単位数						
知能機械工学科	75以上	27	25	16		注
電気情報工学科						
環境都市工学科						
生物応用化学科						
特別活動	単位時間数	1年	2年	3年		
	90	30	30	30		

\* 必ず履修

\*\* 単位取得の上限は1単位

注 一般科目75単位以上、専門科目82単位以上、かつ合計167単位以上修得すること。

### 知能機械工学科 専門科目教育課程(令和6年度以降入学)

授業科目 必修科目	単位数	1年	2年	3年	4年	5年
応用数学	2				2	
応用物理	2			2		
工業外国語	1					1
工業力学	1		1			
振動工学	2					2
材料力学	4			2	2	
材料学	3			1	2	
熱力学	1			1		
工業熱力学	2				2	
水力学	1			1		
流体力学	2				2	
機構学	2			2		
機械設計法	4			2	2	
機械工作法	3			2	1	
機械設計製図	8	2	2	2	2	
工作実習	6.5	2	3	1.5		
ロボット創作実習	1.5			1.5		
電子制御Ⅰ,Ⅱ	4			2	2	
自動制御	2				2	
コンピュータ入門	2	2				
情報処理	3			1	2	
情報工学	2					2
メカトロニクス設計	2					2
計測工学	2				2	
機械工学実験	4.5				3	1.5
卒業研究	10.5					10.5
必修科目小計	78	6	10	18	25	19
選択科目	単位数	1年	2年	3年	4年	5年
応用数学	2					2
材料強度学	2					2
流体工学	2					2
機械システム工学	2					2
生産管理工学	2					2
企業実践講座*	1				1	
学外実習**	1				1	
県内インターンシップ**	2					2
選択科目小計	14	0	0	0	4	10
開設単位数	92	6	10	18		58
修得単位数	82以上	6	10	18		注
* 必ず履修						
** 履修できるのはどちらか一つ						
一般科目合計						
開設単位数	96	28	27	17	13	15
修得単位数	75以上	27	25	16		注
総計						
開設単位数	188	34	37	35		86
修得単位数	167以上	33	35	34		65以上
注 一般科目75単位以上、専門科目82単位以上、かつ合計167単位以上修得すること。(専門科目の選択科目のうち2単位は必須。一般科目または専門科目の選択科目のうち10単位以上(167-(75+82))は自由に選択可能。)						

\* 必ず履修

\*\* 履修できるのはどちらか一つ

一般科目合計

開設単位数	96	28	27	17	13	15
修得単位数	75以上	27	25	16		注
総計						
開設単位数	188	34	37	35		86
修得単位数	167以上	33	35	34		65以上

注 一般科目75単位以上、専門科目82単位以上、かつ合計167単位以上修得すること。(専門科目の選択科目のうち2単位は必須。一般科目または専門科目の選択科目のうち10単位以上(167-(75+82))は自由に選択可能。)

### 電気情報工学科 専門科目教育課程(令和6年度以降入学)

授業科目 必修科目	単位数	1年	2年	3年	4年	5年
応用数学Ⅰ	2				2	
応用数学Ⅱ	2				2	
応用物理	2			2		
工業外国語	2				2	
電気回路Ⅰ,Ⅱ	5		3	2		
電気回路Ⅲ	2			2		
電気磁気学Ⅰ	2			2		
計算機入門	2	2				
情報処理Ⅰ,Ⅱ	4	2	2			
情報処理Ⅲ	2		2			
アルゴリズムとデータ構造Ⅰ	2				2	
アルゴリズムとデータ構造Ⅱ	2				2	
電子回路Ⅰ,Ⅱ	4			2	2	
計算機アーキテクチャー	2		2			
マイクロコンピュータ	2		2			
情報通信	2				2	
回路網理論	2				2	
電子工学	2				2	
電気材料	2				2	
電子計測	2				2	
自動制御	2					2
OSとセキュリティ	2				2	
AIサイエンス	1				1	
電気情報工学実験	12	2	2	3	3	2
卒業研究	10					10
必修科目小計	74	6	13	17	24	14
選択科目	単位数	1年	2年	3年	4年	5年
システム設計	2				2	
IC応用回路	2					2
システムインテグレーション	1				1	
電気磁気学Ⅱ	2				2	
電気機器	2				2	
電気設計	2					2
パワーエレクトロニクス	2					2
送配電工学	2				2	
変電工学	2				2	
高電圧工学	2					2
電気法規・電気施設管理	1					1
企業実践講座*	1				1	
学外実習**	1				1	
県内インターンシップ**	2					2
選択科目小計	24	0	0	0	15	9
開設単位数	98	6	13	17		62
修得単位数	82以上	6	13	17		注
* 必ず履修						
** 履修できるのはどちらか一つ						
一般科目合計						
開設単位数	96	28	27	17	13	15
修得単位数	75以上	27	25	16		注
総計						
開設単位数	194	34	40	34		90
修得単位数	167以上	33	38	33		63以上

\* 必ず履修

\*\* 履修できるのはどちらか一つ

一般科目合計

開設単位数	96	28	27	17	13	15
修得単位数	75以上	27	25	16		注
総計						
開設単位数	194	34	40	34		90
修得単位数	167以上	33	38	33		63以上

注 一般科目75単位以上、専門科目82単位以上、かつ合計167単位以上修得すること。(専門科目の選択科目のうち9単位は必須。一般科目または専門科目の選択科目のうち10単位以上(167-(75+82))は自由に選択可能。)

本科

生物応用化学科 専門科目教育課程(平成31年度以降入学)

授業科目	単位数	1年	2年	3年	4年	5年
必修科目						
応用数学	2				2	
応用物理	4			2	2	
情報処理	3	2		1		
生物応用化学入門	2	2				
生物	2		2			
分析化学	3		1	2		
有機化学	4		1	2	1	
無機化学	4			2	2	
物理化学	4			2	2	
生命科学	2			2		
化学工学	5			1	2	2
発酵科学	2			2		
生物化学	2			2		
機器分析	2				2	
高分子化学	2				2	
反応工学	2					2
工学ゼミナール	1					1
生物応用化学実験 I,II,III,IV	17	2	3	4	8	
卒業研究	13					13
応用化学コース必修科目						
材料化学	2				2	
合成化学	2					2
生物化学コース必修科目						
分子生物学	4				2	2
必修科目小計	80	6	7	18	29	20
選択科目	単位数	1年	2年	3年	4年	5年
先端工学概論	2					2
地域イノベーション工学特論	2					2
計測制御工学	2					2
移動速度論	2					2
食品工学	2					2
天然資源化学	2					2
生物資源科学	2					2
企業実践講座*	1				1	
学外実習**	1				1	
県内インターンシップ**	2				2	
応用化学コース選択科目						
分子生物学	4				2	2
生物化学コース選択科目						
材料化学	2				2	
合成化学	2					2
選択科目小計	22	0	0	0	6	16
開設単位数	102	6	7	18	35	36
修得単位数	82以上	6	7	18		注

\* 必ず履修  
\*\* 履修できるのはどちらか一つ

一般科目合計

	開設単位数	96	29	26	17	13	15
修得単位数	75以上	28	24	16			注

総計

	開設単位数	198	35	33	35	48	51
修得単位数	167以上	34	31	34			68以上

注 一般科目75単位以上、専門科目82単位以上、かつ合計167単位以上修得すること。  
(専門科目の選択科目のうち2単位は必須。  
一般科目または専門科目の選択科目のうち10単位以上(167-(75+82))は自由に選択可能。)

環境都市工学科 専門科目教育課程(令和6年度以降入学)

授業科目	単位数	1年	2年	3年	4年	5年
必修科目						
応用数学 I,II	4				4	
応用物理	2			2		
環境都市工学通論	1	1				
情報リテラシー	1	1				
防災学概論	1	1				
基礎情報処理演習 I,II	3		1	2		
応用情報処理演習	2				2	
構造力学 I,II,III,IV	7		1	2	2	2
橋梁工学	2				2	
建設材料学	1		1			
コンクリート構造学 I,II	2			2		
土質力学 I,II	3		1	2		
水理学 I,II	4			2	2	
河川工学	2				2	
都市地域計画	1				1	
測量学 I,II,III	3		1	1	1	
環境工学基礎	1		1			
環境工学 I,II	3			1	2	
環境工学 III	2				2	
施工管理学	2				2	
基礎製図 I,II	2	1	1			
設計製図 I,II,III	5			1	2	2
基礎実験 I,II	4			2	2	
測量学実習 I,II	4		2	2		
環境都市工学演習	2				2	
卒業研究	10					10
必修科目小計	74	4	8	18	30	14
選択科目	単位数	1年	2年	3年	4年	5年
振動工学	2					2
社会基盤	2					2
メンテナンス工学	2					2
地盤工学	2					2
海岸工学	2					2
計画数理	1				1	
交通システム	1				1	
環境工学IV	1				1	
企業実践講座*	1				1	
学外実習**	1				1	
県内インターンシップ**	2				2	
選択科目小計	15	0	0	0	4	11
開設単位数	89	4	8	18	59	
修得単位数	82以上	4	8	18		注

\* 必ず履修  
\*\* 履修できるのはどちらか一つ

一般科目合計

	開設単位数	96	28	27	17	13	15
修得単位数	75以上	27	25	16			注

総計

	開設単位数	185	32	35	35	87
修得単位数	167以上	31	33	34		69以上

注 一般科目75単位以上、専門科目82単位以上、かつ合計167単位以上修得すること。  
(専門科目の選択科目のうち8単位は必須。  
一般科目または専門科目の選択科目のうち10単位以上(167-(75+82))は自由に選択可能。)

専攻科

メカトロニクス工学専攻 教育課程(令和5年度以降入学)

授業科目	単位数	1年		2年	
		前期	後期	前期	後期
一般科目					
○英語I	2		2		
○英語II	2		2		
現代アジア論	2			2	
ビジネスコミュニケーション	2	2			
テクニカルライティング	2			2	
○技術者倫理	2				2
一般科目 開設単位数	12	4	2	4	2
一般科目 修得単位数		6単位以上			
専門共通科目					
数理統計学	2	2			
数理工学	2	2			
線形代数	2	2			
数値計算・解析法	2		2		
現代物理学	2	2			
情報理論	2		2		
センサー工学	2		2		
応用エネルギー工学	2		2		
環境化学工学	2	2			
環境マネジメント	2				2
専門共通科目 開設単位数	20	10	8	0	2
専門共通科目 修得単位数		12単位以上			
専門専攻科目					
○工学特別ゼミナール	4		2		2
○工学特別実験	4	2	2		
○特別研究 I	4	2	2		
○特別研究 II	10			4	6
計測制御工学	2		2		
I/ワーエレクトロニクス特論	2		2		
ロボット工学	2			2	
材料科学	2	2			
電気電子工学特論	2			2	
精密加工学	2		2		
伝熱工学	2		2		
熱流体工学	2			2	
信号処理理論	2			2	
応用デジタル回路	2			2	
創造プログラミング	2			2	
インターンシップ	2				2
専門専攻科目 開設単位数	46	10	12	18	6
専門専攻科目 修得単位数		36単位以上			
一般・専門科目 開設単位数 合計	78	24	22	22	10
一般・専門科目 修得単位数		62単位以上			

エコシステム工学専攻 教育課程(令和5年度以降入学)

授業科目	単位数	1年		2年	
		前期	後期	前期	後期
一般科目					
○英語I	2		2		
○英語II	2		2		
現代アジア論	2			2	
ビジネスコミュニケーション	2	2			
テクニカルライティング	2			2	
○技術者倫理	2				2
一般科目 開設単位数	12	4	2	4	2
一般科目 修得単位数		6単位以上			
専門共通科目					
数理統計学	2	2			
数理工学	2	2			
線形代数	2	2			
数値計算・解析法	2		2		
現代物理学	2	2			
情報理論	2		2		
センサー工学	2		2		
応用エネルギー工学	2		2		
環境化学工学	2	2			
環境マネジメント	2				2
専門共通科目 開設単位数	20	10	8	0	2
専門共通科目 修得単位数		12単位以上			
専門専攻科目					
○工学特別ゼミナール	4		2		2
○工学特別実験	4	2	2		
○特別研究 I	4	2	2		
○特別研究 II	10			4	6
反応有機化学	2		2		
化学反応論	2			2	
有機機能材料	2			2	
遺伝子細胞工学	2	2			
分離工学	2		2		
生体高分子	2			2	
応用材料工学	2	2			
応用地盤工学	2		2		
建設設計工学	2			2	
社会基盤計画学	2			2	
水働工学	2		2		
地域環境工学	2			2	
複合構造工学	2			2	
インターンシップ	2				2
専門専攻科目 開設単位数	50	12	12	20	6
専門専攻科目 修得単位数		36単位以上			
一般・専門科目 開設単位数 合計	82	26	22	24	10
一般・専門科目 修得単位数		62単位以上			

○印は必修科目

## 学生の詳細情報

### 〈本科〉

#### 学生の定員及び現員

2024年5月1日現在

学科	区分	学級数	入学定員	1年	2年	3年	4年	5年	計
知能機械工学科		1	40	42 <sup>(3)</sup>	37 <sup>(5)</sup>	42 <sup>(4)</sup> (1)	37 <sup>(4)</sup> (1)	39 <sup>(4)</sup> (1)	197 <sup>(20)</sup> (3)
電気情報工学科		1	40	40 <sup>(7)</sup>	42 <sup>(8)</sup>	41 <sup>(3)</sup>	46 <sup>(6)</sup> (1)	44 <sup>(7)</sup> (1)	213 <sup>(31)</sup> (2)
生物応用化学科		1	40	41 <sup>(15)</sup>	40 <sup>(19)</sup>	40 <sup>(18)</sup> (1)	42 <sup>(19)</sup> (1)	37 <sup>(17)</sup>	200 <sup>(88)</sup> (2)
環境都市工学科		1	40	42 <sup>(12)</sup>	39 <sup>(14)</sup>	37 <sup>(9)</sup>	45 <sup>(11)</sup> (1)	41 <sup>(10)</sup> (1)	204 <sup>(56)</sup> (2)
計		4	160	165 <sup>(37)</sup>	158 <sup>(46)</sup>	160 <sup>(34)</sup> (2)	170 <sup>(40)</sup> (4)	161 <sup>(38)</sup> (3)	814 <sup>(195)</sup> (9)

( )内は女子内数 ( )は外国人留学生内数

#### 入学志願者及び入学者

2024年5月1日現在

学科	年度	2020		2021		2022		2023		2024	
		志願者	入学者								
知能機械工学科		54 <sup>(4)</sup>	40 <sup>(4)</sup>	56 <sup>(3)</sup>	40 <sup>(3)</sup>	64 <sup>(7)</sup>	40 <sup>(6)</sup>	53 <sup>(7)</sup>	40 <sup>(4)</sup>	55 <sup>(4)</sup>	40 <sup>(3)</sup>
電気情報工学科		54 <sup>(10)</sup>	40 <sup>(7)</sup>	49 <sup>(6)</sup>	42 <sup>(5)</sup>	61 <sup>(7)</sup>	40 <sup>(3)</sup>	44 <sup>(8)</sup>	41 <sup>(8)</sup>	57 <sup>(10)</sup>	40 <sup>(7)</sup>
生物応用化学科		64 <sup>(27)</sup>	41 <sup>(19)</sup>	56 <sup>(24)</sup>	40 <sup>(18)</sup>	56 <sup>(30)</sup>	40 <sup>(18)</sup>	45 <sup>(22)</sup>	40 <sup>(19)</sup>	45 <sup>(16)</sup>	40 <sup>(14)</sup>
環境都市工学科		57 <sup>(12)</sup>	41 <sup>(11)</sup>	54 <sup>(11)</sup>	40 <sup>(9)</sup>	65 <sup>(12)</sup>	40 <sup>(9)</sup>	44 <sup>(14)</sup>	40 <sup>(14)</sup>	43 <sup>(14)</sup>	40 <sup>(12)</sup>
計		229 <sup>(53)</sup>	162 <sup>(41)</sup>	215 <sup>(44)</sup>	162 <sup>(35)</sup>	246 <sup>(56)</sup>	160 <sup>(36)</sup>	186 <sup>(51)</sup>	161 <sup>(45)</sup>	200 <sup>(44)</sup>	160 <sup>(36)</sup>

\*試験の結果第二志望の学科に入学した場合は、実際に入学した学科の志願者として集計

( )内は女子内数

#### 高校からの編入学志願者及び編入学者

2024年5月1日現在

学科	年度	2020		2021		2022		2023		2024	
		志願者	入学者								
知能機械工学科		3 <sup>(1)</sup>	1 <sup>(1)</sup>	1 <sup>(0)</sup>	1 <sup>(0)</sup>	1 <sup>(0)</sup>	1 <sup>(0)</sup>	0 <sup>(0)</sup>	0 <sup>(0)</sup>	0 <sup>(0)</sup>	0 <sup>(0)</sup>
電気情報工学科		3 <sup>(0)</sup>	2 <sup>(0)</sup>	2 <sup>(0)</sup>	1 <sup>(0)</sup>	2 <sup>(0)</sup>	1 <sup>(0)</sup>	1 <sup>(0)</sup>	1 <sup>(0)</sup>	0 <sup>(0)</sup>	0 <sup>(0)</sup>
生物応用化学科		0 <sup>(0)</sup>	0 <sup>(0)</sup>	0 <sup>(0)</sup>	0 <sup>(0)</sup>	1 <sup>(0)</sup>	1 <sup>(0)</sup>	1 <sup>(0)</sup>	0 <sup>(0)</sup>	0 <sup>(0)</sup>	0 <sup>(0)</sup>
環境都市工学科		0 <sup>(0)</sup>	0 <sup>(0)</sup>	2 <sup>(1)</sup>	1 <sup>(1)</sup>	0 <sup>(0)</sup>					
計		6 <sup>(1)</sup>	3 <sup>(1)</sup>	5 <sup>(1)</sup>	3 <sup>(1)</sup>	4 <sup>(0)</sup>	3 <sup>(0)</sup>	2 <sup>(0)</sup>	1 <sup>(0)</sup>	0 <sup>(0)</sup>	0 <sup>(0)</sup>

( )内は女子内数

### 〈専攻科〉

#### 学生の定員及び現員

2024年5月1日現在

専攻	区分	学級数	入学定員	1年	2年	計
メカトロニクス工学専攻		1	8	10 <sup>(1)</sup>	11 <sup>(2)</sup>	21 <sup>(3)</sup>
エコシステム工学専攻		1	8	10 <sup>(4)</sup>	10 <sup>(5)</sup>	20 <sup>(9)</sup>
計		2	16	20 <sup>(5)</sup>	21 <sup>(7)</sup>	41 <sup>(12)</sup>

( )内は女子内数

#### 入学志願者及び入学者

2024年5月1日現在

専攻	年度	2024	
		志願者	入学者
メカトロニクス工学専攻		11 <sup>(1)</sup>	10 <sup>(1)</sup>
エコシステム工学専攻		15 <sup>(5)</sup>	10 <sup>(4)</sup>
計		26 <sup>(6)</sup>	20 <sup>(5)</sup>

( )内は女子内数

#### 在学生の出身地 (出身中学校所在地に基づく集計:2024年度在学者)

和歌山市が28%と最も多く、本校所在地の御坊市を含む日高地域の学生は20%です。続いて、近隣の有田地域(15%)、田辺市を含む西牟婁地域(8%)、岩出市、紀の川市を含む那賀地域(8%)の学生が多く、県外では大阪府(9%)が最も多くなっています。

2024年5月1日現在

出身地	学年	1年	2年	3年	4年	5年	本科計	専攻科1年	専攻科2年	専攻科計	総計
和歌山県		150 (35)	136 (42)	138 (30)	148 (35)	139 (33)	711 (175)	18 (5)	19 (7)	37 (12)	748 (187)
地 域	和歌山市	49 (8)	44 (11)	56 (9)	41 (6)	38 (5)	228 (39)	7 (1)	4 (2)	11 (3)	239 (42)
	海草	6 (1)	10 (5)	4 (0)	13 (2)	10 (3)	43 (11)	1 (0)	2 (2)	3 (2)	46 (13)
	那賀	17 (8)	14 (3)	10 (3)	14 (6)	11 (3)	66 (23)	3 (0)	1 (0)	4 (0)	70 (23)
	伊都	2 (0)	3 (0)	2 (0)	8 (1)	4 (0)	19 (1)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	19 (1)
	有田	20 (6)	21 (7)	25 (8)	24 (8)	32 (10)	122 (39)	4 (2)	2 (0)	6 (2)	128 (41)
	日高	36 (7)	34 (14)	23 (4)	34 (9)	34 (10)	161 (44)	1 (0)	6 (1)	7 (1)	168 (45)
	西牟婁	16 (5)	10 (2)	18 (6)	11 (3)	9 (2)	64 (18)	2 (2)	2 (1)	4 (3)	68 (21)
	東牟婁	4 (0)	0 (0)	0 (0)	3 (0)	1 (0)	8 (0)	0 (0)	2 (1)	2 (1)	10 (1)
大阪府	12 (2)	15 (2)	18 (1)	15 (3)	15 (2)	75 (10)	1 (0)	1 (0)	2 (0)	77 (10)	
他 県	3 (0)	7 (2)	2 (2)	3 (1)	4 (2)	19 (7)	1 (0)	1 (0)	2 (0)	21 (7)	
計		165 (37)	158 (46)	158 (33)	166 (39)	158 (37)	805 (192)	20 (5)	21 (7)	41 (12)	846 (204)

( )内は女子内数

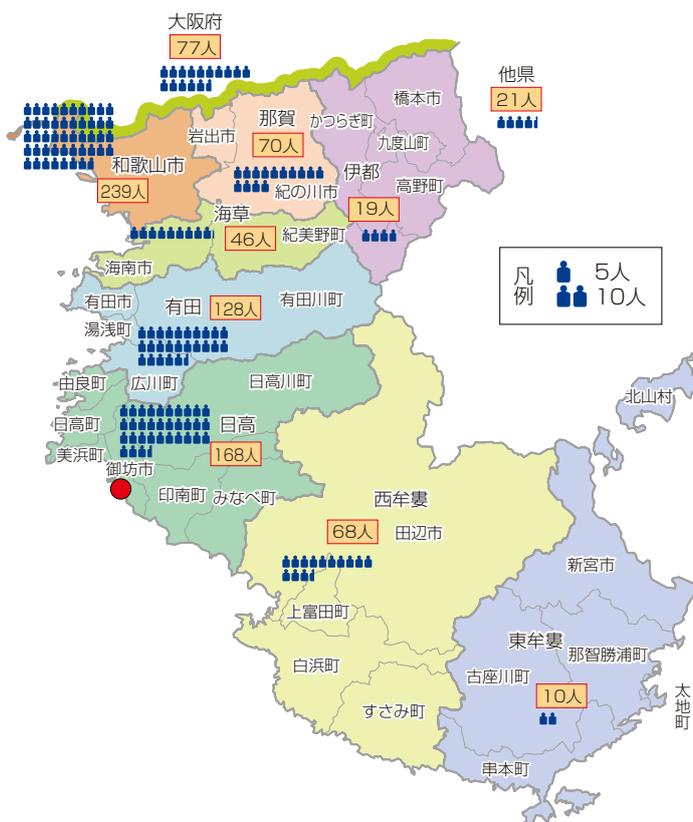
## 外国人留学生

2024年5月1日現在

国	学 科	3年	4年	5年	計
マレーシア	知能機械工学科		1	1 <sup>(1)</sup>	2 <sup>(1)</sup>
//	電気情報工学科		1		1 <sup>(0)</sup>
//	生物応用化学科	1 <sup>(1)</sup>			1 <sup>(1)</sup>
タイ	電気情報工学科			1	1 <sup>(0)</sup>
カンボジア	環境都市工学科		1		1 <sup>(0)</sup>
チュニジア	知能機械工学科	1			1 <sup>(0)</sup>
モンゴル	生物応用化学科		1 <sup>(1)</sup>		1 <sup>(1)</sup>
//	環境都市工学科			1	1 <sup>(0)</sup>
計		2 <sup>(1)</sup>	4 <sup>(1)</sup>	3 <sup>(1)</sup>	9 <sup>(3)</sup>

( )内は女子内数

## 在学生の出身地(分布図)



留学生ガイダンス

- 入学金は 84,600円です。授業料は、234,600円ですが、1～3年生には原則として高等学校と同様の「就学支援金制度」の適用があり、所得に応じ年額 0円、115,800円または 234,600円の負担となります。4年生から専攻科生は、「高等教育の修学支援新制度」に申請することが可能であり、所得及び学業成績に応じて授業料の減免及び奨学金の給付を受けることができます。また上記によらず、特別な事由がある場合には、「国立高等専門学校機構による授業料免除」を申請することができます。

## 奨学金

2023年度実績

学年	区分	日本学生支援機構			和歌山県	奈良県	大阪府	天野	中津基金	その他	計
		第一種	第二種	給付型							
1 年		3			3	0	1		0	0	7
2 年		3			1	0	0		0	3	7
3 年		9			2	0	1		0	2	14
4 年		8	2	22	1	0	0		0	9	42
5 年		4	2	27	2	0	2	1	1	4	43
専攻科1年		0	0	5	0	0	0		0	1	6
専攻科2年		0	0	4	0	0	0		0	2	6
計		27	4	58	9	0	4	1	1	21	125

## 授業料免除

2023年度実績

学年	区分	前 期					後 期				
		希望者数	全額免除者数	2/3免除者数	1/3免除者数	免除者数/対象者数(%)	希望者数	全額免除者数	2/3免除者数	1/3免除者数	免除者数/対象者数(%)
4 年		30	12	5	3	12.6	26	14	3	4	13.2
5 年		28	16	5	3	15.8	27	16	5	4	16.6
専攻科1年		6	2	1	2	23.8	5	1	1	2	20.0
専攻科2年		5	2	2	0	14.3	5	2	2	0	14.3
計		69	32	13	8	14.7	63	33	11	10	15.1

## 進路

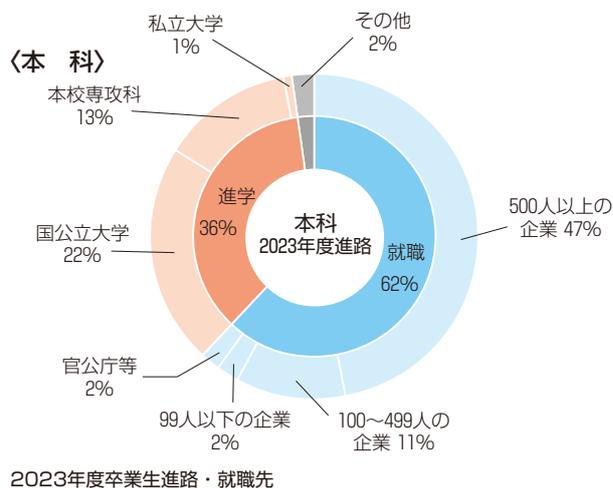
### 〈本科進路〉

5年間の一貫教育により技術者を育成する本校は、景気に左右されることなく、毎年100パーセントの就職率を保ち、ほぼ全員が希望の大手企業等へ就職しています。また進学を希望する卒業生はそのほとんどが国公立大学への編入学や、本校専攻科へ進学をしています。

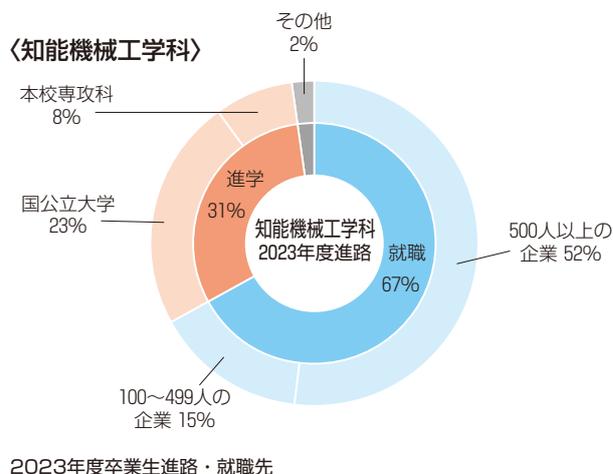
卒業生の進路は、就職62パーセント、国公立大学への進学22パーセント、本校専攻科への進学13パーセント、その他2パーセントでした。

### 就職

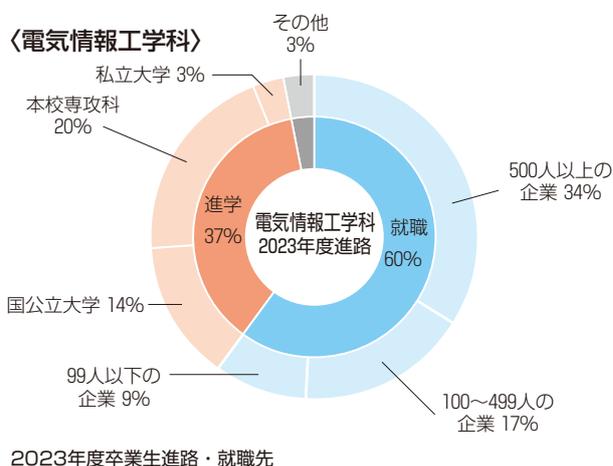
本科		年度	2019	2020	2021	2022	2023
卒業生数			152	156	148	162	149
就職者数			96	102	87	105	92
地域別	京浜地区		38	44	30	44	40
	京阪神地区		35	33	31	42	34
	和歌山県		12	17	13	11	4
	その他		11	8	13	8	14
企業規模	500人以上		70	75	56	78	69
	100人~499人		14	13	17	14	17
	99人以下		4	5	6	6	3
	官公庁等		8	9	8	7	3



知能機械工学科		年度	2019	2020	2021	2022	2023
卒業生数			34	35	43	42	39
就職者数			20	20	30	29	26
地域別	京浜地区		9	9	7	12	7
	京阪神地区		7	7	11	12	10
	和歌山県		2	2	2	2	1
	その他		2	2	10	3	8
企業規模	500人以上		18	18	24	24	20
	100人~499人		2	2	5	4	6
	99人以下					1	
	官公庁等				1		



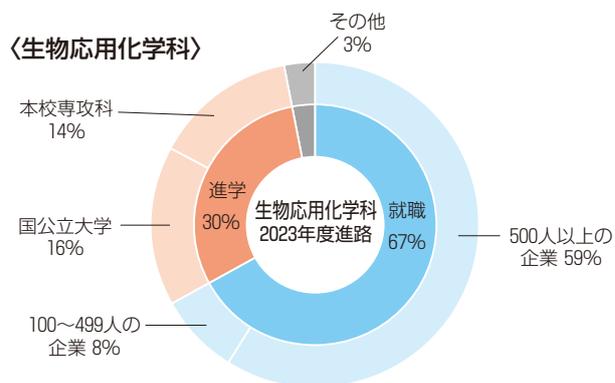
電気情報工学科		年度	2019	2020	2021	2022	2023
卒業生数			35	42	36	43	35
就職者数			24	24	16	29	21
地域別	京浜地区		10	9	6	13	11
	京阪神地区		7	10	7	10	5
	和歌山県		4	3	2	3	1
	その他		3	2	1	3	4
企業規模	500人以上		20	17	11	19	12
	100人~499人		3	5	3	6	6
	99人以下		1	2	2	4	3
	官公庁等						



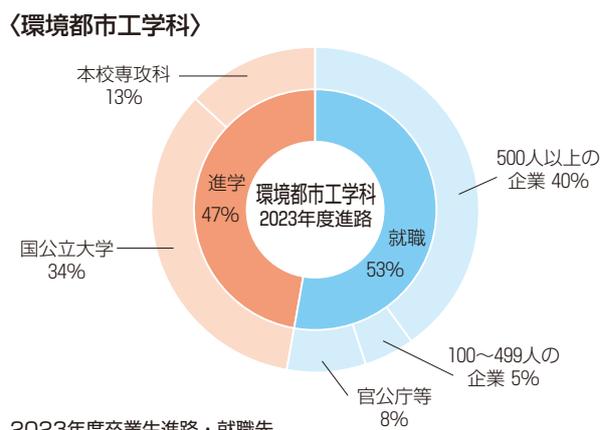
生物応用化学科		年度	2019	2020	2021	2022	2023
卒業生数			40	40	33	40	37
就職者数			20	24	17	23	25
地域別	京浜地区		4	9	6	11	9
	京阪神地区		11	6	8	9	13
	和歌山県		2	7	2	1	1
	その他		3	2	1	2	2
企業規模	500人以上		14	17	10	19	22
	100人～499人		4	5	5	3	3
	99人以下		1	2	1	1	
	官公庁等		1		1		

※2020年度以前は物質工学科

環境都市工学科		年度	2019	2020	2021	2022	2023
卒業生数			43	39	36	37	38
就職者数			32	34	24	24	20
地域別	京浜地区		15	17	11	8	13
	京阪神地区		10	10	5	11	6
	和歌山県		4	5	7	5	1
	その他		3	2	1		
企業規模	500人以上		18	23	11	16	15
	100人～499人		5	1	4	1	2
	99人以下		2	1	3		
	官公庁等		7	9	6	7	3



2023年度卒業生進路・就職先



2023年度卒業生進路・就職先



3年生対象キャリアセミナー



地域産業勉強会

### 大学等編入学

大学等	年度	2021	2022	2023
和歌山高専専攻科		30	21	20
豊橋技術科学大学		3	8	10
長岡技術科学大学		5	6	5
和歌山大学		2	1	1
東京農工大学		2		1
金沢大学			2	1
岐阜大学			1	2
岡山大学				3
徳島大学		1	1	1
九州大学			1	2
北海道大学		1	1	
京都工芸繊維大学		1	1	
広島大学		2		
室蘭工業大学				1
弘前大学			1	
東北大学				1
秋田大学		1		
茨城大学				1
埼玉大学			1	
東京工業大学				1
横浜国立大学			1	
富山大学		1		
福井大学				1
三重大学		1		
大阪大学		1		
神戸大学		1		
島根大学		1		
愛媛大学				1
高知大学			1	
九州工業大学		1		
佐賀大学		1		
大阪公立大学			1	1
豊田工業大学				1
大阪工業大学			1	
計		55	49	54

2023年度(令和5年度)本科卒業生進路先一覧

2024年5月1日現在

就職先	知能機械	電気情報	生物応用化学	環境都市	計	就職先	知能機械	電気情報	生物応用化学	環境都市	計	進学先	知能機械	電気情報	生物応用化学	環境都市	計					
<b>[ 企業 ]</b>						<b>NITTOKU(株)</b>						<b>[ 進学 ]</b>										
(株)アイ.エスピー		1			1	パナソニックインダストリー(株)		1			1	和歌山高専専攻科	3	7	5	5	20					
アドバンスプランニング(株)		1			1	阪神高速技術(株)	1			1	2	室蘭工業大学		1			1					
出光興産(株)	1				1	ファナック(株)	1				1	東北大学		1			1					
(株)エイト日本技術開発				1	1	深江化成(株)			1		1	茨城大学	1				1					
エース設計産業(株)	1				1	不二製油(株)	1		2		3	東京工業大学	1				1					
エヌティティインフラネット(株)				1	1	富士通(株)		1			1	東京農工大学		1			1					
大阪ガスネットワーク(株)				1	1	フジテック(株)	1				1	長岡技術科学大学			1	4	5					
(株)大林組	1				1	富士電機(株)	1				1	金沢大学				1	1					
小川香料(株)			1		1	本州化学工業(株)			2		2	福井大学	1				1					
オークマ(株)	1				1	丸善石油化学(株)			1		1	岐阜大学	1				2					
(株)オリエンタルコンサルタンツ				1	1	マルホ(株)			1		1	豊橋技術科学大学	3	2	2	3	10					
花王(株)	1	2			3	三井化学(株)			1		1	和歌山大学					1					
鹿島建設(株)				2	2	三井住友建設(株)				1	1	岡山大学	1				2					
(株)カネカ		1			1	三菱電機エンジニアリング(株)	2				2	徳島大学					1					
関西エアポートテクノカルサービス(株)	1				1	三菱電機(株)神戸製作所		1			1	愛媛大学			1		1					
(株)クボタ	1				1	メディカル・エキスパート(株)		1			1	九州大学	1		1		2					
クラシエ製菓(株)			2		2	(株)モビテック	1				1	大阪公立大学			1		1					
京王建設(株)				1	1	森トラストビルマネジメント(株)		1			1	豊田工業大学			1		1					
(株)小松製作所	1				1	森永乳業(株)	1				1	<b>進学計</b>										
五洋建設(株)				2	2	(株)八雲ソフトウェア		1			1	12	13	11	18	54						
三機工業(株)				1	1	ユニチカ(株)			1		1	<b>[ その他 ]</b>										
サントリー(株)		2			2	(株)Link-U		1			1	和歌山高専研究生	1	1			2					
JFEエンジニアリング(株)				1	1	(株)Relic		1			1	その他			1		1					
Japan Advanced Semiconductor Manufacturing(株)	1				1	和歌山セイカホールディングス(株)			1		1											
(株)JALエンジニアリング	1				1	<b>小 計</b>					26	21	25	17	89							
新明和工業(株)	1				1	<b>[ 官公庁等 ]</b>																
住友精化(株)			1		1	国土交通省					2	2										
全星薬品工業(株)			1		1	御坊市				1	1											
シーグル(株)メディアテクノロジー(株)	1				1																	
(株)ソフトサービス	2				2																	
Daigasガスアンドパワーソリューション(株)			1		1																	
ダイキン工業(株)	1		1		2																	
大成建設(株)				1	1																	
(株)タジマモーターコーポレーション	1				1																	
(株)タマデック	1				1																	
寺崎電気産業(株)	1				1																	
(株)デンソー	1				1																	
東亜石油(株)			1		1																	
東海旅客鉄道(株)		2			2																	
東京水道(株)				1	1																	
東レ(株)			1		1																	
中日本高速道路(株)	1				1																	
西日本高速道路エンジニアリング関西(株)				1	1																	
西日本高速道路ファシリティーズ(株)	1				1																	
西日本電信電話(株)				1	1																	
西日本旅客鉄道(株)	1	1			2																	
ニチレキ(株)	1				1																	
(株)日産オートモーティブテクノロジー	1				1																	
日信電子サービス(株)	1				1																	
						<b>小 計</b>						0	0	0	3	3						
						<b>就職計</b>						26	21	25	20	92						
												<b>その他計</b>						1	1	1	0	3
												<b>就職・進学合計</b>						39	35	37	38	149

### 〈専攻科進路〉

2023年度の専攻科修了生の進路は企業等への就職が79パーセント、大学院研究科への進学が14パーセント、その他(2名)が7パーセントでした。

#### 専攻科修了生進学先一覧

大学院進学先	年度	2021		2022		2023	
		メカ	工コ	メカ	工コ	メカ	工コ
筑波大学大学院		1		1			
東京大学大学院			1				
長岡技術科学大学大学院			1				
豊橋技術科学大学大学院						1	
京都工芸繊維大学大学院					1		
大阪大学大学院					3	1	
神戸大学大学院							1
奈良先端科学技術大学院大学		1	3	1			
和歌山大学大学院		1					
九州工業大学大学院							1
九州大学大学院					1		
大阪公立大学大学院			1				
合計		3	6	2	5	2	2

#### 専攻科修了生就職先一覧

就職先	年度	2021		2022		2023	
		メカ	工コ	メカ	工コ	メカ	工コ
旭化成(株)				1	1		
(株)朝日工業社				1			
アマゾンジャパン(同)				1			
エスケー化研(株)							1
大阪ガス(株)				1			
大阪ガスネットワーク(株)						1	
(株)オブテージ		1					
omeroid(株)						1	
花王(株)				1			
(株)カネカ					1		1
関西エアポートテクニカルサービス(株)						1	
関西電力(株)				1			
キヤノンメディカルシステムズ(株)		1					
(株)クボタ						1	
(株)ザイマックス関西				1			
沢井製薬(株)					1		
三機化工建設(株)			1				
(株)CTIウイング					1		
(株)島精機製作所						1	
スガイ化学工業(株)					1		
住友電気工業(株)				1			
星光PMC(株)			1				
全星薬品工業(株)			1				1
ダイキン工業(株)						1	
大成建設(株)							2
大日精化工業(株)							1
ダイハツ工業(株)		1					
チームラボ(株)							1
中外製薬工業(株)			1				1
(株)長大							1
TOA(株)		1					
DIC(株)					1		
(株)テクモ		1					
東京電力ホールディングス(株)		1					
日東電工(株)			1	1			
(株)日本触媒		1					
パーソルクロステクノロジー(株)						1	
パナソニックインダストリー(株)					1		
パナソニックシステムソリューションズジャパン(株)		1					
ファナック(株)				1			
(株)富士テクノソリューションズ		1					
ホソカワミクロン(株)							1
マルホ(株)					1		
三木理研工業(株)							1
三菱ケミカルエンジニアリング(株)				1			
三菱重工業(株)						1	
三菱地所プロパティマネジメント(株)				1			
三菱電機(株)冷熱システム製作所						1	
三菱電機エンジニアリング(株)				1			
(株)メンバーズ		1					
リコージャパン(株)				1			
(株)Link-U		1		1		1	
(株)Relic				1			
国土交通省			1				
和歌山県			1		1		1
東大阪市					1		
美浜町			1				
合計		11	8	16	10	10	12

## 外部資金等受入 (2023年度)

### 1. 科学研究費補助金

科学研究費補助金(科研費)は、基礎から応用までのあらゆる「学術研究」を格段に発展させることを目的とする国の競争的研究資金で、独創的・先駆的な研究に対する助成を行うものです。

研究種目	件数	総額(単位:円)
基盤研究(B)	1	6,500,000
基盤研究(C)	8	10,751,000
若手研究	3	2,475,863
奨励研究	1	340,000
挑戦的研究(萌芽)	1	1,300,000
研究活動スタート支援	1	390,000
計		21,756,863

### 2. 共同研究

民間企業・公的研究機関などの研究者と本校の教員が、共通のテーマについて対等の立場で行う研究です。民間企業等から研究者と研究経費を受け入れて、基本的に本校を研究の場として行うタイプと共通のテーマについて、本校の教員と民間企業等の研究者が研究を分担し、それぞれの場において研究を進めるタイプがあります。両者のアイデア・意見を交換しながら研究を進めることにより独創的な研究成果が期待できます。

件数	総額(単位:円)
10	9,340,000

### 3. 受託研究

民間企業・公的研究機関などから委託された課題について委託者の負担する経費を使用して、本校の教員が研究を行い、その成果を委託者に報告します。

件数	総額(単位:円)
5	9,781,883

### 4. 受託試験

民間企業・公的研究機関などからの依頼に応じて、本校の研究装置を利用して、試験、分析、測定などを行います。委託者からの申請に基づき受け入れを決定し、料金の徴収・試験等を行い、委託者へ試験等の結果を報告します。

件数	総額(単位:円)
0	0

### 5. 寄附金

学校運営や学科、研究プロジェクト、地域共同テクノセンター等の教育・研究組織または教員個人に対して、教育研究活動支援のために資金・設備などをご提供いただいています。本校の教育研究の充実・発展に重要な役割を果たしています。本校に対する寄附金は、法人税法、所得税法による税制上の優遇措置が受けられます。

件数	総額(単位:円)
48	15,799,709

### 6. その他競争的外部資金

①受託事業 ・紀伊半島の海洋から学ぶSDGs型ジュニアドクター育成プログラム

②その他助成金 ・未来の技術者を応援する楽しいモノづくり講座  
 ・PBLによるものづくり実習で行うキャリア教育  
 ・理科が好きになる、遊んで学ぶ公開講座  
 ・和歌山県産農産物の抗老化活性と有効成分の探索  
 ・2024年度エネルギー教育支援事業  
 ・プログラミング教育にアクティブラーニングを取り入れた防災教材の開発  
 ・ウイルス感染による鼻腔細胞におけるウイルス受容体発現を抑制する精油の探索  
 ・静水圧処理麦芽を用いた微アルコールクラフトビールの低温醸造試験

	件数	総額(単位:円)
①	1	10,000,000
②	8	4,148,000
計		14,148,000

## 協定等の締結 (主なもの)

※締結日付順

産業界	
(公財)わかやま産業振興財団	2016年11月10日
(公財)島財団	2019年10月15日
行政機関等	
和歌山県教育委員会	2012年11月 8日
紀の国大学協議会	2016年 3月15日
美浜町	2016年 6月21日
和歌山県内9機関及びNHK和歌山	2019年 3月31日
御坊市	2020年 7月29日
御坊警察署	2021年 2月 5日
和歌山森林管理署	2021年 3月12日
印南町	2021年12月 3日
和歌山県	2022年12月22日
有田市教育委員会	2023年 1月20日
金融機関	
(株)紀陽銀行	2008年 3月 3日

大学研究機関等	
京都大学工学部	2007年 3月28日
京都大学大学院工学研究科	2007年 3月28日
和歌山大学システム工学部	2012年 3月22日
和歌山大学大学院システム工学研究科	2012年 3月22日
大阪大学基礎工学部・大学院基礎工学研究科	2013年 9月12日
北陸先端科学技術大学院大学	2014年12月10日
早稲田大学大学院情報生産システム研究科	2018年 1月25日
鳥羽商船高等専門学校	2018年 3月27日
大阪大学工学部・大学院工学研究科	2019年 4月25日
神戸大学大学院工学研究科	2019年 7月17日
インドネシア ボゴール農科大学	2020年 9月18日
上海電機学院	2021年 3月22日
インドネシア アトマジャヤ大学	2022年 8月10日
インドネシア スラバヤ工科大学	2022年 8月31日

## 学生・教職員の主な受賞一覧 (2021年度～2023年度)

### 学生

年度	所属等※ 氏名	主催機関・大会等	受賞内容
2021	2E 西萩 一喜	令和3年度国土交通省近畿地方整備局研究発表会	優秀賞受賞
	1M 坂口 文哉 1M 山本 泰雅	IVRC2021部門オンラインポスター発表会	企業賞受賞
	1M 中村 蒼紫	2021年度情報処理学会関西支部 支部大会	ジュニア会員特別賞受賞
	3C 岩崎 なつね 3D 山崎 あかり	第56回全国高専体育大会ソフトテニス競技女子ダブルス	準優勝
	3C 川畑 慶悟	サイエンスキャッスル研究費	アサヒ飲料賞受賞
	2A 井口 陽登	第56回全国高専体育大会柔道競技男子個人戦	第3位
	2C 小敷 奏大	第56回全国高専体育大会柔道競技男子個人戦	第3位
	1C 森 聖愛	第56回全国高専体育大会柔道競技女子個人戦	優勝
	4A 新野 理子	第15回全国高等専門学校英語プレゼンテーションコンテストシングル部門	準優勝
	2M 平野 有基	令和2年度第3ブロック専攻科生研究フォーラム	優秀賞受賞
	2E 宮下 幸奈	令和2年度第3ブロック専攻科生研究フォーラム	優秀賞受賞
	男子バレーボール部 団体	2021「和歌山おもしろ科学大賞」投稿動画コンテスト	金賞受賞
	2E 西萩 一喜	第4回高専防災コンテスト	最優秀賞受賞
	2E 楠本 恵理	令和3年度第3ブロック専攻科生研究フォーラム	優秀賞受賞
	2E 夏見 弥侑	令和3年度第3ブロック専攻科生研究フォーラム	優秀賞受賞
	2E 橋爪 千佳	令和3年度第3ブロック専攻科生研究フォーラム	優秀賞受賞
	2E 池田 遼	第24回化学工学会学生大会	優秀賞受賞
	2M 大川 竜生	2021年度和歌山大学システム工学部合同卒業研究発表会	優秀賞受賞
2022	4B 箕西 善大 3A 石井 博章 3A 大西 洋輝 2A 小柳 志音 2A 下津 大地 2A 脇 悠斗 1A 北原 優織 1A 内藤 心都	アイデア対決・全国高等専門学校 ロボットコンテスト2022 全国大会	ベスト4、技術賞受賞
	5D 伊賀 暖人 5D 冷水 孝太郎 5D 朱家 佑弥 5D 杉崎 凌哉	第21回コンクリートカヌー競技大会	【アイデアの部・制作の部・総合の部】第3位
	4B TUMURK(H)YAG, TSEJMLJUN 4C 坂口 翔大朗 4C 宮本 祐輔 3A 井口 陽登 3A 延明 知哉 3C 小敷 奏大 3C 昌浦奥 夏輝	第57回全国高専体育大会柔道競技団体戦	第3位
	1D 上野 日葵	第57回全国高専体育大会柔道競技女子個人戦	第3位
	2C 森 聖愛	第57回全国高専体育大会柔道競技女子個人戦	優勝
	3A 井口 陽登	第57回全国高専体育大会柔道競技男子個人戦	第3位
	3C 小敷 奏大	第57回全国高専体育大会柔道競技男子個人戦	第3位
	4D 河邊 咲葵	第57回全国高専体育大会柔道競技女子個人戦	第2位
	2D 江川 才翔 2D 河村 佳紀	WAKA×YAMA SUMMER IDEATHON2022	優勝
	2C 楠本 光輝	SDGsの達成に貢献するバイオエコノミーとバイオテクノロジー動画コンテスト2022	優秀賞受賞
	5B 片山 明奈	2022年度情報処理学会関西支部大会	ジュニア会員特別賞受賞
	1M 小川 剛史	2022年度情報処理学会関西支部大会	ジュニア会員特別賞受賞
	2M 山本 泰雅	2022年度情報処理学会関西支部大会	支部大会奨励賞受賞
	2E 東 さくら	2022年電気化学秋季大会	奨励賞受賞
	2M 日浅 登貴	Journal of Robotics and Mechatronics誌	査読論文が第一著者として掲載
	1A 矢田 勝聖	第77回国民体育大会近畿ブロック大会ライフル射撃競技	第3位
	4B 山田 歩佑	第16回全国高専英語プレゼンテーションコンテストシングル部門	第3位
	4A 瀧川 悠羽 4A 津村 百香 4B 岸 華音	第16回全国高専英語プレゼンテーションコンテストチーム部門	日本能率協会会長賞受賞
5B 岡本 凜太郎	(一財)電気学会高電圧研究会	若手奨励賞受賞	
2M 坂口 文哉	第3ブロック専攻科研究フォーラム	優秀賞受賞	
2E 栗原 恰史	第3ブロック専攻科研究フォーラム	優秀賞受賞	
2E 藤岡 美紅	和歌山大学システム工学部合同卒業研究発表会	優秀発表賞受賞	
5D 田中 勇摩 5D 山添 成毅 4A 石井 博章 4A 大西 洋輝 3A 小柳 志音 3A 下津 大地 3A 高田 陸生 3A 津守 勇輝 3A 脇 悠斗 2A 北原 優織 2A 佐古 渉 2A 藤井 咲太郎 2A 宮原 海翔 2A 向井 航平 2B 巻淵 友慎	令和4年度第1回高専防災減災コンテスト	文部科学大臣賞(最優秀賞)受賞	
4A 石井 博章 4A 大西 洋輝 3A 小柳 志音 3A 下津 大地 3A 高田 陸生 3A 津守 勇輝 3A 脇 悠斗 2A 北原 優織 2A 佐古 渉 2A 藤井 咲太郎 2A 宮原 海翔 2A 向井 航平 2B 巻淵 友慎	第1回Championship of Robotics Engineers 2023	優勝	
5D 河邊 咲葵 5D 北川 莉万 3D 勝丸 直樹 3D 河村 佳紀	第22回コンクリートカヌー競技大会	第3位	
4D 家古 晟礼 4D 伊賀 康将 4D 榎本 直士 4D 塩崎 奏聡 4D 出口 遥香 4D 寺井 梨華 4D 中川 風希 4D 宮崎 正惟	第7回和歌山県データ利活用コンペティション	サイバーリンクス賞受賞	
1C 岸 直輝	テクノ愛2023高校の部	健闘賞受賞	
2A 西川 漢士	第58回全国高専体育大会柔道競技男子個人戦	第3位	
2D 上野 日葵	第58回全国高専体育大会柔道競技女子個人戦	第1位	
3C 森 聖愛	第58回全国高専体育大会柔道競技女子個人戦	第3位	
4A 井口 陽登	第58回全国高専体育大会柔道競技男子個人戦	第1位	
4C 小敷 奏大	第58回全国高専体育大会柔道競技男子個人戦	第3位	
5D 河邊 咲葵	第58回全国高専体育大会柔道競技女子個人戦	第2位	
1M 金崎 太郎	2023年度情報処理学会関西支部大会	ジュニア会員特別賞受賞	
2E 赤松 兵馬	2023年度関西電気化学研究会	関西電気化学奨励賞受賞	
5D 谷口 晃祥 2E 片嶋 将人	令和5年度第2回高専防災減災コンテスト	文部科学大臣賞(最優秀賞)受賞	
5D 小森 琳央	令和5年度第2回高専防災減災コンテスト	高専機構賞受賞	
2E 園部 琢己	第3ブロック専攻科研究フォーラム	優秀賞受賞	

※A:知能機械工学科、B:電気情報工学科、C:生物応用化学科、D:環境都市工学科、M:メカトロニクス工学専攻、E:エコシステム工学専攻を表す。

※本一覧は、和歌山工業高等専門学校学生表彰に関する規則に基づき表彰された者の中から抜粋して掲載。

### 教職員

年度	所属等※ 氏名	主催機関・大会等	受賞内容
2021	A 教授 榎原 恵蔵	(一社)軽金属学会	70周年記念学術功績賞
	A 助教 石橋 春香	(公社)計測自動制御学会	計測部門論文賞
	A 助教 徐 嘉榮	(一社)電気学会	東北支部長賞(優秀論文賞)
2022	C 助教 舟浴 佑典	イオン液体研究会	口頭講演賞(Green Chemistry賞)
	G 准教授 原 めぐみ	令和4年度国立高等専門学校教員顕彰	優秀賞(若手部門)受賞
2023	D 教授 三岩 敬孝	令和4年度国立高等専門学校教員顕彰	優秀賞(一般部門)受賞
	A 准教授 原 圭介	(公社)日本材料学会	複合材料部門論文賞
	技術支援室(団体)	令和5年度国立高等専門学校職員表彰	理事長賞(技術職員部門)受賞

※G:総合教育科、A:知能機械工学科、B:電気情報工学科、C:生物応用化学科、D:環境都市工学科を表す。

# 会 計

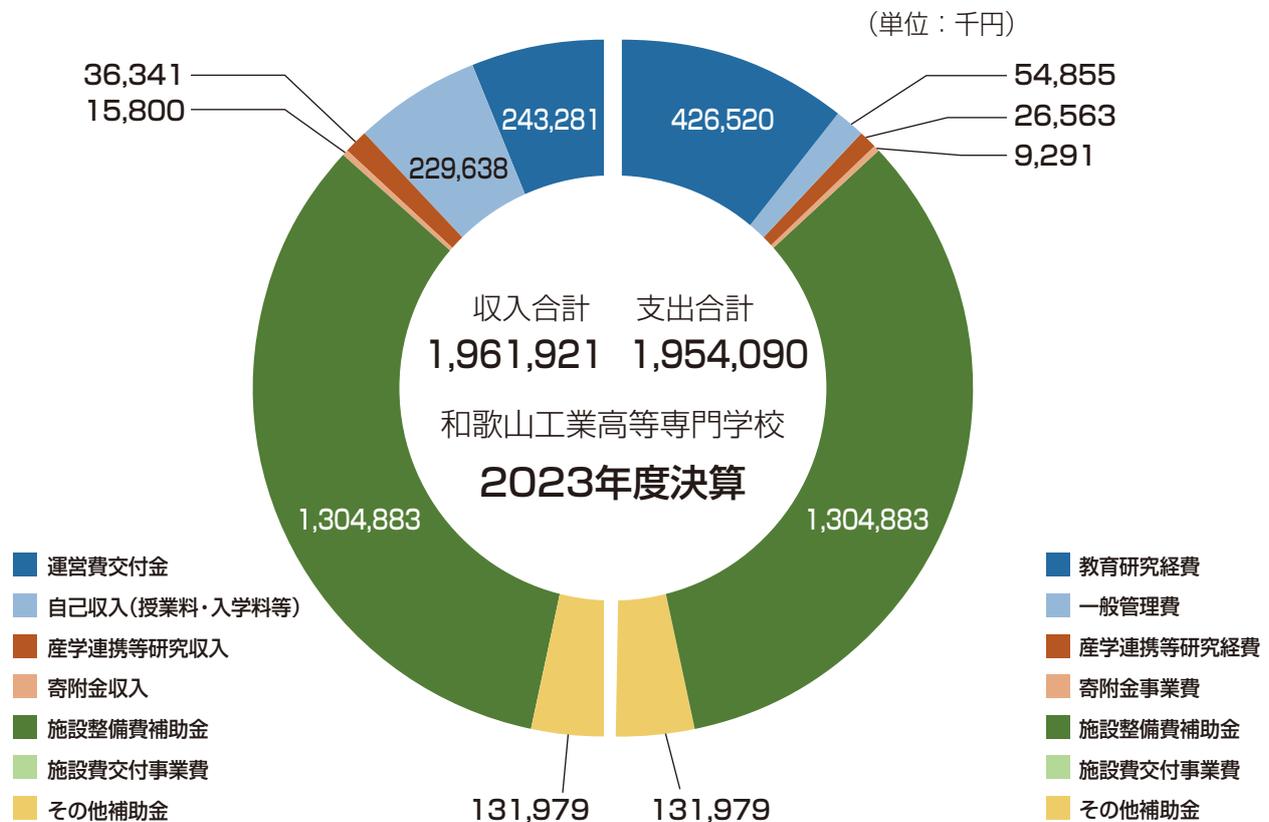
## 2023年度決算

(単位：千円)

収 入	金 額	%	支 出	金 額	%
運営費交付金	243,281	12.4	教育研究経費	426,520	21.8
自己収入 (授業料・入学金等)	229,638	11.7	一般管理費	54,855	2.8
産学連携等研究収入	36,341	1.9	産学連携等研究経費	26,563	1.4
寄附金収入	15,800	0.8	寄附金事業費	9,291	0.5
施設整備費補助金	1,304,883	66.5	施設整備費補助金	1,304,883	66.8
施設費交付事業費	0	0.0	施設費交付事業費	0	0.0
その他補助金	131,979	6.7	その他補助金	131,979	6.7
計	1,961,921	100.0	計	1,954,090	100.0

\* 収入および支出の計の差は、産学連携等研究収入および寄附金収入が2023年度の入金額であり、対する支出は前年度からの繰越額を含めた財源からの支出および翌年度への繰越額等が存在するためである。

\*\* 常勤の教職員の人件費は、独立行政法人国立高等専門学校機構本部事務局にて、支出・計上している。



## たゆまぬ挑戦，飛躍の高専！

和歌山高専は2024（令和6）年に創立60周年を迎えました。

なお、2022（令和4）年、高専（高等専門学校）制度は、創設から60周年を迎えています。

今後もみなさまのご理解とご協力をいただきながら、挑戦を重ね、一層の飛躍を目指したいと存じます。

どうぞよろしく願いいたします。



（高専制度60周年ロゴマーク）

記事についてのご意見・ご感想をお寄せください。  
右の二次元コードからもメールアドレスを読み込めます。



独立行政法人国立高等専門学校機構

**和歌山工業高等専門学校**

〒644-0023 和歌山県御坊市名田町野島77

代表電話番号 0738-29-2301

FAX 0738-29-8216

Eメール info@wakayama-nct.ac.jp

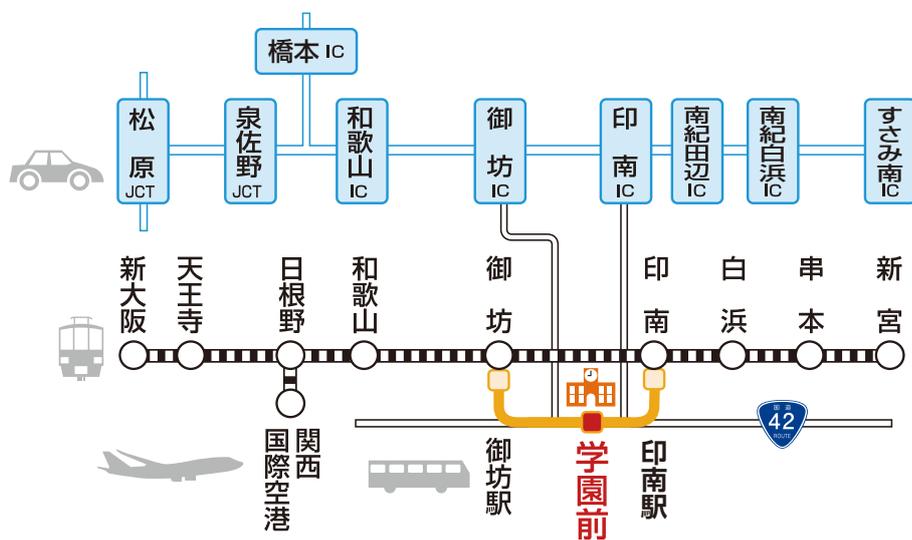
<https://www.wakayama-nct.ac.jp/>

2024年6月発行

DESIGNED by I.D.S inc.

PRINTED by WAKAYAMA PRINTING.co.ltd.

# ACCESS



- ◎御坊駅から、熊野御坊南海バスの印南駅行きに乗車、約20分で学園前バス停下車。
- ◎印南駅から、熊野御坊南海バスの御坊駅行きに乗車、約10分で学園前バス停下車。

## 和歌山工業高等専門学校を支援する企業（教育研究支援基金）

（50音順、令和5年4月～令和6年6月現在）

- |                  |             |
|------------------|-------------|
| アイエムティー(株)       | (株) 石橋      |
| 紀州技研工業(株)        | クオリティソフト(株) |
| (株) 駒井ハルテック和歌山工場 | 築野食品工業(株)   |
| 南海化学(株)          | (株) 日本化学工業所 |
| 三木理研工業(株)        |             |



独立行政法人国立高等専門学校機構

## 和歌山工業高等専門学校

NATIONAL INSTITUTE OF TECHNOLOGY (KOSEN), WAKAYAMA COLLEGE

<https://www.wakayama-nct.ac.jp/>

